EPSON
EXCEED YOUR VISION

dreamio

EH-DM3

取扱説明書

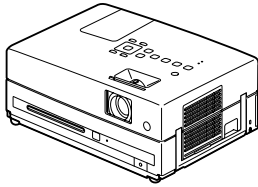
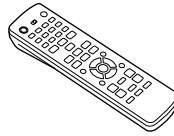
HDMI HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE
DVD VIDEO
RW DVD + ReWritable
COMPACT disc SUPER VIDEO
COMPACT disc DIGITAL AUDIO

お使いになる前に

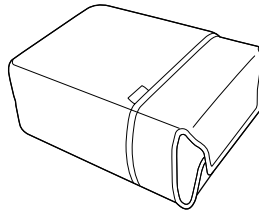
お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
本製品を、安全に正しくお使いいただくために、添付の
マニュアル類をよくお読みください。不明な点はいつで
も解決できるように､その後はすぐに見られる場所に大切
に保存してください。

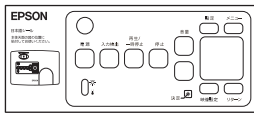
3LCD

同梱品の確認

下記のチェックリストをご覧になり、同梱品を確認してください。万一、不足や不良がございましたら、お手数ですがお買い上げいただいた販売店にご連絡ください。

□本体

□リモコン

□単3形マンガン乾電池（2本）

□電源ケーブル（日本国内専用3m）

□収納用ケース

□取扱説明書（本書）

□日本語シール

□保証書

□天井投写キット

説明書中の表示の意味

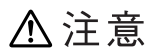
注意	本機の故障や損傷の原因となるおそれがある内容を示しています。
ポイント	関連する情報や知っていると便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
❶　1	操作方法や作業の順番を示しています。 番号順に操作して目的の作業を行ってください。
	リモコン、または本機のボタンを示しています。
「(メニュー名)」	画面に表示されるメニューの項目名やメッセージを示しています。 例:「明るさ」
DVDビデオ　DVDビデオ	ディスクの種類によって、使える機能や実行できる操作が違う場合があります。 次のマークで対象となるディスクをお知らせします。 DVDビデオ　ビデオCD　データCD　音楽CD　MP3/WMA　JPEG　DivX　外部ビデオ PC DVDビデオ　ビデオCD　データCD　音楽CD　MP3/WMA　JPEG　DivX　外部ビデオ・PC

目次

安全にお使いいただくために

安全に関する表示

本書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止　水場での使用禁止　接触禁止

行為を指示する記号

必ず行うこと　電源プラグを抜く

異常・故障時

⚠警告

次のような場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店、またはエプソンの各修理センターにご相談ください。

電源プラグを抜く

- 煙が出ている、変な臭い、変な音がする。
- 本機内部に水や異物が入った。
- 本機を落としたり、ケースを破損した。

そのまま使い続けると、火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから、絶対にしないでください。
異常が生じたとき、すぐにコンセントから電源プラグを抜けるように容易に手が届くコンセントに接続してください。

サービスマン以外の方は、本書で指示している場合を除き、本機のケースを開けないでください。また、本機（消耗品を含む）の分解・改造は、絶対にしないでください。

分解禁止

内部には電圧の高い部分が数多くあり、火災・感電・事故の原因となります。

設置時・使用時

⚠警告

電源ケーブルを使用・取り扱う際は、次の点を守ってください。

必ず行うこと

誤って使用・取り扱うと、火災・感電・漏電事故の原因となります。

- 添付の電源ケーブル以外のものは使用しない。
- 破損した電源ケーブルは、使用しない。
  電源ケーブルが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはプロジェクターインフォメーションセンターにご相談ください。
- 電源ケーブルを加工しない。
- 電源ケーブルの上に重いものを載せない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- 電熱器の近くに配線しない。

電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。

必ず行うこと

誤って取り扱うと、火災・感電の原因となります。

- たこ足配線はしない。
- 電源プラグの刃や刃の付近のホコリを定期的に清掃する。清掃するときは、電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布でふき取ります。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。
- 電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らない。
  必ず、プラグ本体を持って抜く。

⚠警告

表示されている電源電圧(交流100V)以外の電圧で使用しないでください。
指定以外の電圧を使うと、火災・感電の原因となります。
禁止

屋外や風呂、シャワー室など、水や雨のかかるおそれのある場所、湿度の高い場所で使用・設置しないでください。
火災・感電の原因となります。
水場での使用禁止

本機の上に花瓶・水の入った容器・薬品などを置かないでください。
こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。
禁止

電源投入後は、絶対にレンズをのぞかないでください。
強い光で、視力障害などの原因となります。小さなお子様のいるご家庭では、チャイルドロックを行うなど特に注意してください。
禁止

本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。次のことを守って安全にお使いください。
以下の点を守らないと、けがや中毒を起こす原因となります。
必ず行うこと

- ランプを分解したり衝撃や傷を与えない。
- ランプが破裂した際は、破裂時に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入れないように注意するとともに、すみやかに部屋の換気を行う。
  水銀ランプ内部のガスには水銀が含まれています。万一、ランプ破裂時にガスを吸い込んだり、目や口にガスが入った場合は、直ちに医師の診察を受けてください。
- ランプが破裂した際に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入れないようにするために、本機を使用中は、絶対に本機に顔を近づけない。

本機の吸気口・排気口・ディスクスロットから、金属類・燃えやすい物・異物などを差し込んだり、落としたりしないでください。
火災・感電の原因となります。小さなお子様のいるご家庭では、特に注意してください。
禁止

本機または電池の入ったリモコンを、窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
熱による変形や、本機内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。
禁止

雷が鳴り出したら、電源プラグに触らないでください。
感電の原因となります。
接触禁止

本機のレンズ・フィルターなどに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。
本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となります。
禁止

可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所で使用しないでください。
本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となります。
禁止

⚠注意

ぐらついた台の上・傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
禁止

本機の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。
小さなお子様のいるご家庭では、特に注意してください。
禁止

本機の吸気口・排気口をふさがないでください。
吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
次のような場所には設置しないでください。
禁止

- 押し入れ・本箱の中など、風通しの悪い狭いところ。
  排気口と壁などの間は、20cm以上開けてください。
  吸気口と壁などの間は、10cm以上開けてください。
- 布団・毛布・毛足の長いじゅうたんなどの上。
- 毛布・カーテン・テーブルクロスのような布をかけない。

ケーブル類は、足などが引っかからないように配線してください。
電源ケーブルやAVケーブルをケーブルの長さがぎりぎりのところなどに配線すると、足などを引っかけて機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。
必ず行うこと

湿気やホコリの多い場所・調理台や加湿器のそばなど、油煙・湯気が当たる場所で使用・設置しないでください。
火災・感電の原因となることがあります。
禁止

⚠注意

リモコンの電池を小さなお子様の手の届く場所に放置しないでください。
飲み込んだり、ノドに詰まらせることがあります。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

禁止

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。

禁止

本機を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。
火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品が腐食する原因となることがあります。次のことを守り、安全にお使いください。

必ず行うこと

- 種類の違う電池・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 本書指定の電池以外は使用しない。
- 電池から液がもれた場合は、もれた液を布などで拭き取り、新しい電池と交換する。もれた液が手などに付着した場合は、すぐに水で洗い流してください。
- 交換時期がきたら、電池をすぐに取り出す。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出す。
- 電池は加熱・分解・ショートしたり、火や水の中に投げ込んだりしない。
- 極性（＋、－）を正しく入れる。
- 電池を廃棄するときは、地域の回収ルールに従う。

初めから音量を上げすぎないでください。
突然大きな音が出て、聴力障害の原因やスピーカーを破損することがあります。
電源を切る前に音量（ボリューム）を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。

禁止

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないでください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化により、火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

投写中は、排気口の付近に熱で変形したり悪影響を受けるものを置いたり、手や顔を近づけたりしないでください。
排気口から温風が出るため、やけど・変形・事故の原因となります。

禁止

使用直後は、絶対にランプを取り出さないでください。電源を切って本書指定の時間が経過して、ランプが十分冷えるまでお待ちください。
熱で、やけど・けがの原因となることがあります。

禁止

お手入れ

⚠注意

お手入れの際には、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は濡れた布やアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤を使用しないでください。
水が中に入ったり、ケースが劣化し割れるなどして感電の原因となります。

禁止

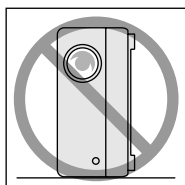
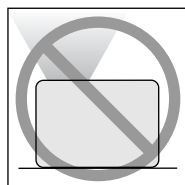
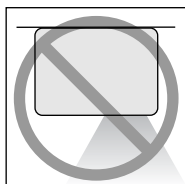
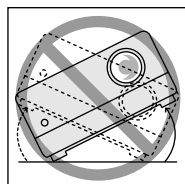
1年に1度は、内部の掃除を依頼することをお勧めします。
長期間、内部の掃除を行わないと、ホコリがたまり火災や感電の原因となります。1年に1度は、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターに内部の掃除を依頼してください（その場合は有料となりますのでご了承ください）。特に、梅雨の前に掃除を行うことをお勧めします。

必ず行うこと

使用・保管上のお願い

故障や誤動作、破損の原因となりますので、次の注意事項を必ず守ってください。

取り扱い・保管上の留意点

- **本書指定の使用温度範囲、保管温度範囲を守って使用・保管してください。**
- **振動や衝撃が伝わる場所には設置しないでください。**
- **テレビやラジオ・ビデオなど磁気を発生するものの近くには設置しないでください。**
  本機で再生中の画像や音声に悪い影響を与えたり、正しく動作しない場合があります。万一、このような症状が発生したときは、テレビやラジオ・ビデオから離してください。
- **以下の状態で投写しないでください。故障や事故の原因となります。**

立てて投写しない。

上に向けて投写しない。

下に向けて投写しない。

左右に傾けて投写しない。

- **再生中は本機を動かさないでください。**
  ディスクに傷がついたり、故障の原因となります。
- **たばこなどの煙が当たる場所、寝室などホコリの多い部屋での使用・保管はできるだけ避けてください。**
  投写映像の品質が劣化することがあります。
- **投写レンズを素手で触らないでください。**
  レンズ面に指紋や皮脂が付くときれいに投写できません。本機を使用しないときはレンズカバーを閉めてください。
- **本機の故障、およびランプ不点灯により発生した損害について、定められたサービス範囲以外は免責とさせていただきます。**
- **本機は側面に保管用フットがあるので、棚などにコンパクトに縦置き収納できます。縦置き収納する際は、保管用フットを下側にして置いてください。また、吸気口にホコリが入らないように、必ず同梱の収納用ケースに入れてください。**

結露について

寒いところから暖かい部屋に本機を持ち込む、または本機を設置している部屋を急激に暖房したときなどは、レンズの表面や内部に水滴が付着(結露)することがあります。結露すると、映像がぼやけるなど正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷める原因となります。結露を防ぐには、ご使用になる1時間くらい前に使用する部屋に本機を設置するようにします。万一、結露したときは、電源ケーブルをコンセントから抜いて、1～2時間待ってからお使いください。

ランプについて

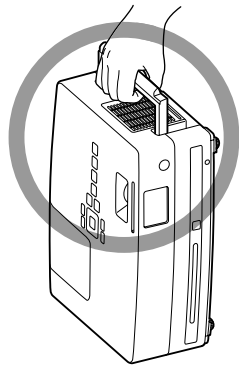
本機は光源に、内部圧力の高い水銀ランプを使っています。水銀ランプには次の特徴があります。

- 使用時間の経過に伴って、ランプの明るさが低下します。
- 衝撃や傷、使用時間の経過による劣化などで、大きな音を伴って破裂したり、不点灯状態になったりして、寿命にいたります。
- ランプの個体差や使用条件によって寿命にいたるまでの時間に、かなり大きな差があります。
  万一に備えて、あらかじめ交換用ランプをご用意ください。
- ランプの交換時期を超えると、破裂する可能性が一段と高まります。
  ランプ交換のメッセージが表示されたら、すみやかに新しいランプと交換してください。
- ランプには水銀が含まれています。使用済みのランプは、地域の蛍光管の破棄ルールに従って廃棄してください。

液晶パネルについて

- 液晶パネルは非常に精密な高い技術で作られていますが、黒い点が見えたり、赤や青、緑などの点が常時点灯することがあります。また、すじ状に色むらや明るさむらが見えることもあります。
  これは、液晶パネルの特性で起きるもので、故障ではありません。あらかじめ、ご了承ください。
- 白黒がはっきり分かれている静止画を15分以上投写していると投写映像に残像が残ることがあります。万一、残像が残ってしまったときは、残像が消えるまで(残像の程度によって異なりますが目安で30〜60分)明るい画面(コンピューター:白画面、ビデオ:なるべく明るい動画)を投写してください。それでも消えないときはエプソンの各修理センターにご相談ください。

本機を持ち運ぶ際のご注意

- レンズカバーを閉めてください。
- ディスクを取り出してください。
- フットを伸ばしているときは、フットを収納してください。
- 下図のようにハンドルを持って、本機を移動してください。

輸送時のご注意

本機内部には、ガラス部品や精密部品を数多く使用しています。輸送の際は、衝撃による故障防止のため、次のように取り扱ってください。

- 運送業者(宅配業者他)にご相談のうえ、本機に衝撃が伝わらないように本機の周囲を保護し、堅固なダンボール箱に入れ、精密機器であることを告げて輸送を依頼してください。
- レンズカバーを閉じた状態で梱包してください。

※お客様が、輸送の際に発生した故障に関する保証はいっさいできかねますので、ご了承ください。

著作権について

ディスクを著作権者に無断で複製·放送·上映·公開演奏·レンタル(有償、無償にかかわらず)することは、法律により禁止されています。

ステレオを聞くときのエチケット

楽しい音楽や映画の音も、ときには周囲の迷惑になります。隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲に良く通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

音のエチケット

ディスクとUSBストレージについて

ディスクについて

再生できるディスク

次のディスクを再生できます。

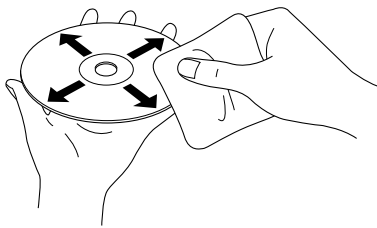
ディスクの種類	本書中の表示	特徴
DVDビデオ	DVDビデオ	映画などが高画質で記録されている市販のソフト。 本機では、以下のようにリージョン番号「2」または「ALL」と表示されているディスクを再生できます。 例）
DVD+RW DVD+R DVD+R DL DVD-RW DVD-R DVD-R DL	DVDビデオ MP3/WMA JPEG DivX	他のDVDレコーダーで録画した左記のDVD。 • ビデオフォーマット記録されたDVDを再生できます。 • VRフォーマットで記録されたDVDを再生できます。 • 録画を行ったDVDレコーダーで「ファイナライズ」を行ったディスクに限り再生できます。 • ISO9660/UDFで記録した以下のファイルも再生できます。 MP3/WMA/JPEG/MPEG1/2/4/DivX®3/4/5/6/Divx® Ultra • マルチセッションに対応しています。
ビデオCD	ビデオCD	映像や音楽が記録されている市販のソフト。 • PBC(プレイバックコントロール)付きビデオCD(バージョン2.0)に対応しています。 • スーパービデオCD(SVCD)も再生できます。
CD	音楽CD	音楽や音声が記録されている市販のソフト。
CD-R/RW CD+R/RW	データCD MP3/WMA JPEG DivX	CDレコーダーやコンピューターで作成したCD。 • ISO9660 level1とlevel2/UDFで記録した以下のファイルを再生できます。 MP3/WMA/JPEG/Kodak Picture CD/フジカラーCD/MPEG1/2/4/DivX®3/4/5/6/Divx® Ultra • 拡張フォーマット(Joliet)に対応しています。 • マルチセッションに対応しています。 • パケットライト方式で記録されたディスクも再生できます。

- コンパクトディスク(CD)規格に準拠していないコピーコントロールCD等のディスクは、本機では動作や音質を保証できません。
  CD規格に準拠したCDには、以下のコンパクトディスクロゴマークが表示されています。音楽ディスクパッケージの表示をご確認ください。
- 本機はNTSC・PALテレビ方式のどちらも再生できます。
- DVDビデオ、SVCD、ビデオCDは、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機は、ソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生しますので、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書を必ずご覧ください。
- DVD-R/R DL/RW、DVD+R/R DL/RW、CD-R/RW、CD+R/RWは、ディスクの傷・汚れ・反り・記録状態・記録条件が原因で再生できないことがあります。また、読み取りに時間がかかることがあります。
- CPRM(Content Protection for Recordable Media)対応のDVD-RにVRフォーマットで記録したディスクは、本機で再生することはできません。
- 次のディスクは、音声だけ再生できます。
  ・MIX-MODE CD ・CD-G ・CD-EXTRA
  ・CD TEXT

再生できないディスク

- 次のディスクは再生できません。
  ・DVD-ROM　・CD-ROM　・PHOTO CD
  ・DVDオーディオ　・SACD　・DACD
  ・DVD-RAM
- 直径12cm、または8cm以外の円形ディスク
- 円形以外の特殊な形状(ハート型や多角形など)をしたディスク

ディスクの取り扱い方

- 再生面を手で触れないでください。
- 保管時は、必ずケースに入れてください。
- 保管場所は、直射日光の当たる場所や湿度の高い場所を避けてください。
- ディスクの再生面が指紋やホコリで汚れていると、映像の乱れや音質低下の原因となります。再生面の汚れは、乾いた柔らかい布でディスクの中心から外側に向けて軽く拭いてください。
- アナログレコード用のクリーナーやベンジン、静電気防止剤などは使用しないでください。
- ディスクに紙やシールを貼らないでください。

再生できるUSBストレージ

- USB1.1 に準拠した以下のような記憶装置を接続して再生できます。
  ・USBメモリー(セキュリティー機能が付いていない機種のみ)
  ・マルチカードリーダー
  ・デジタルカメラ(USBマスストレージクラス対応の機種のみ)
- SDメモリーカードなどのメディアはマルチカードリーダーを介して本機と接続してください。
- ファイルシステム「FAT16/32」に対応しています。
- 一部のシステムファイルに対応できないことがあります。その場合は、Windowsでフォーマットしたメディアをお使いください。
- マルチカードリーダーに複数のメモリーカードをセットしていても、再生されるのはそのうちの1枚に限ります。
  再生したいカードだけをセットしてください。

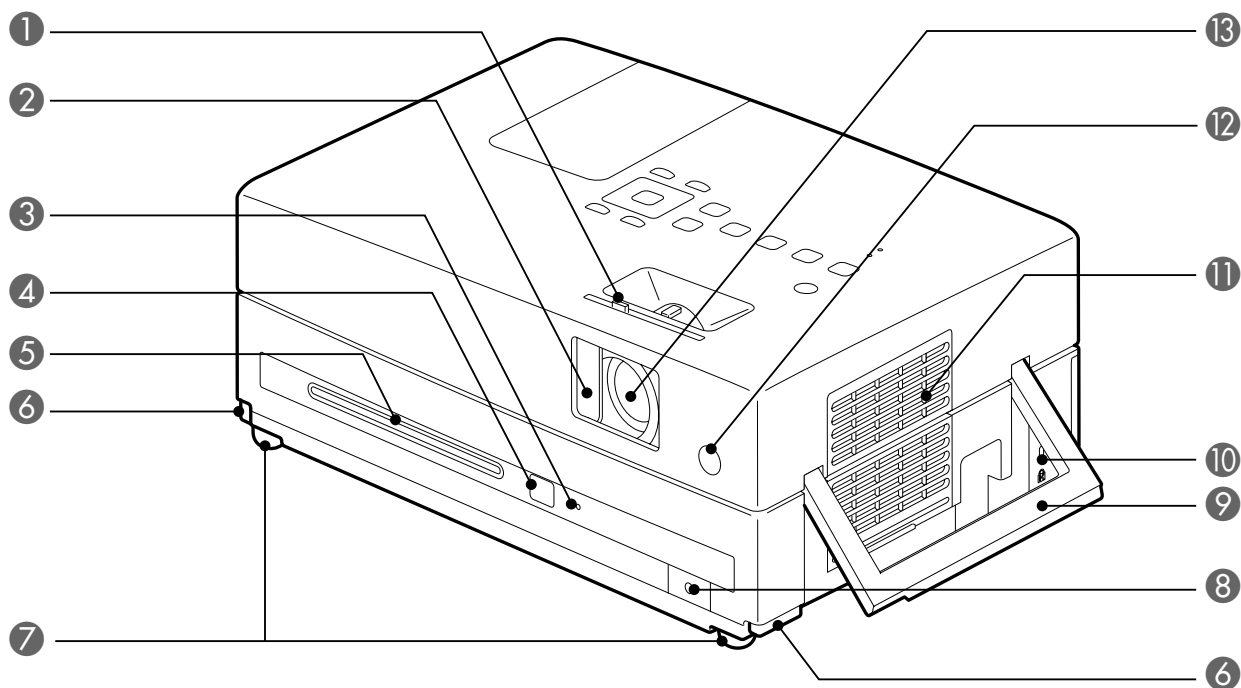
再生できるファイルの仕様

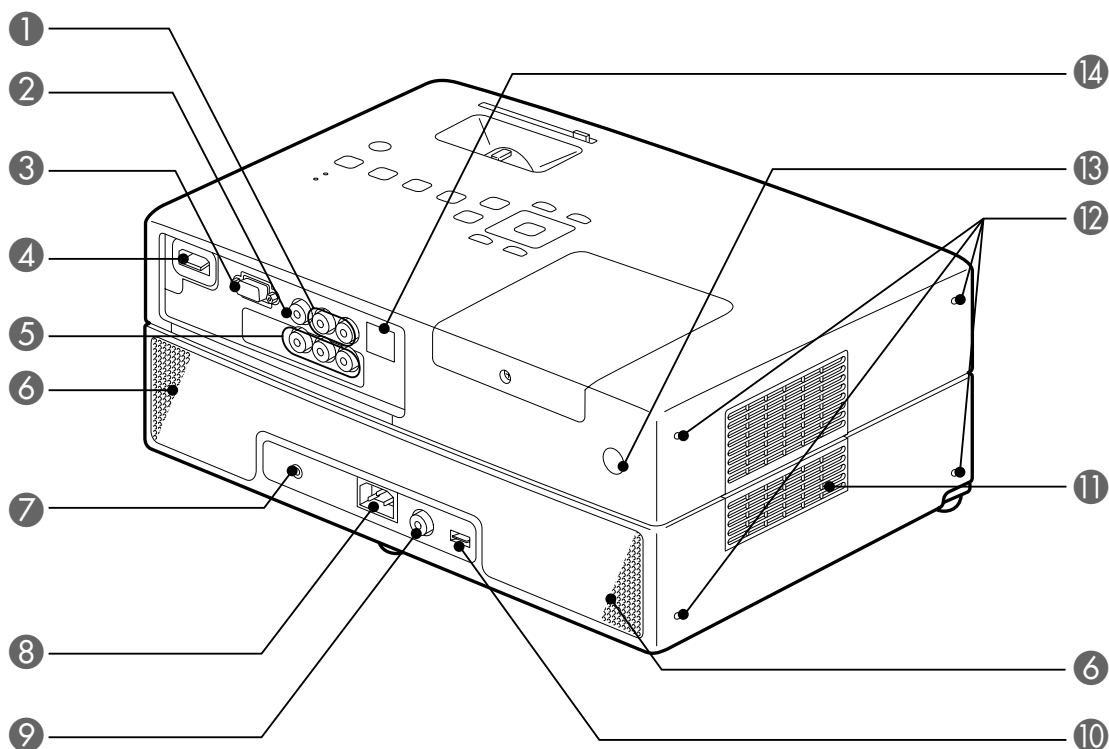
ファイル形式	ファイル名拡張子※	仕様
MP3	「.mp3」または「.MP3」	ビットレート:16〜320kbps サンプリング周波数:11kHz、16kHz、22.05kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz
WMA	「.wma」または「.WMA」	ビットレート:64〜192kbps サンプリング周波数:44.1kHz、48kHz
DivX® DivX® Ultra	「.divx」または「.DIVX」、「.avi」、「.AVI」	最高3Mbps 最大画素数:720×576ピクセル 最高フレームレート:30fps 「.avi」「.AVI」という拡張子でもDivX®ファイルでないことがあります。この場合は再生できないことがあります。
JPEG	「.jpg」または「.JPG」	総画素数:3072x2048ピクセルまで Motion JPEGには対応していません。 DCF(Design rule for Camera File system)規格準拠のデジタルスチルカメラで撮影したJPEGデータに対応しています。デジタルスチルカメラの自動回転機能などを使用したときやコンピューターの画像編集ソフトなどで加工、編集、再保存したデータは再生できないことがあります。

※ファイル名が全角文字の場合は、正しく表示されません。

ファイルサイズ	4GB
1フォルダー内のファイル総数※	648ファイル(フォルダーを含む)+2デフォルトフォルダー
フォルダー総数※	最大300フォルダー

各部の名称と働き

前面

名称	働き
❶ スライド式レンズカバー操作部	ツマミをスライドさせてレンズカバーの開閉をします。
❷ スライド式レンズカバー	本機を使わないときはレンズ保護のためにレンズカバーを閉めてください。 投写中にレンズカバーを閉めると投写光を完全に遮断できます。この状態で約30分経過すると自動的に投写ランプが消灯します。☞p.15
❸ Discインジケーター	ディスクスロットにディスクを挿入すると緑色に点灯します。☞p.16
❹ イジェクトボタン	ディスクスロットからディスクを取り出すときに押します。☞p.19
❺ ディスクスロット	再生するディスクを挿入します。☞p.16
❻ フットレバー	フットレバーを押してフロントフットを伸縮させます。☞p.18
❼ フロントフット	投写レンズ側のフットは回すと伸縮します。最大まで伸ばすと、本機を約10° まで傾けることができます。☞p.18
❽ ヘッドホン端子	ヘッドホンを接続します。☞p.42
❾ ハンドル(セキュリティーケーブル取付け部)	本機を持ち運ぶときは、このハンドルを持って移動します。☞p.6 市販の盗難防止用ワイヤーロックをこの部分に通して施錠します。☞p.54
❿ セキュリティースロット(🔒)	Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティーシステムに対応したセキュリティースロットです。☞p.54
⓫ 吸気口(エアフィルターカバー)	本機内部を空冷するための空気を取り込みます。ここにホコリがたまると内部の温度が上昇し故障や光学部品の早期劣化の原因となります。定期的に清掃をしてください。☞p.60
⓬ リモコン受光部	リモコン信号を受光します。☞p.13
⓭ 投写レンズ	映像を投写します。

背面

名称	働き
❶ Audio入力端子	接続したビデオ機器やコンピューターの音声出力端子と接続します。☞p.37, 38, 39
❷ Video入力端子	ビデオ機器の一般的な映像出力端子と接続します。☞p.37
❸ PC入力端子	コンピューターのRGB出力端子と接続します。☞p.39
❹ HDMI入力端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターを接続します。☞p.38
❺ Component入力端子	ビデオ機器のコンポーネント(YCbCrやYPbPr)出力端子と接続します。☞p.38
❻ スピーカー	バーチャルサラウンドに対応しています。☞p.44
❼ マイク入力端子	マイクを接続します。☞p.43
❽ 電源端子	電源ケーブルを接続します。☞p.15
❾ Digital Coaxial Audio-Out端子	同軸デジタル音声入力端子付きの音響機器を接続します。☞p.44
❿ USB端子	USB1.1に対応したUSBメモリーやマルチカードリーダーなどを接続し、MP3/WMAやJPEG、DivX®の再生ができます。☞p.36
⓫ 排気口	本機内部を空冷した空気の吐き出し口です。 ⚠ 注意 投写中は、排気口の付近に熱で変形したり、悪影響を受けるものを置いたり、手や顔を近づけたりしないでください。
⓬ 保管用フット	本機を縦置きにするときの脚となります。縦置き収納する際は、保管用フットを下側にして置いてください。また、吸気口にホコリが入らないように、必ず同梱の収納用ケースに入れてください。
⓭ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。☞p.13
⓮ サービス端子	制御用の端子で通常は使用しません。

天面

本製品には、「日本語シール」が同梱されています。本書でのボタン名称は、シールが貼られていることを前提に記載しています。

❻ 日本語シールの貼り方

● 音量調節ボタン ☞p.17

● 設定ボタン ☞p.46

● メニューボタン ☞p.23

● ボタン ☞p.23

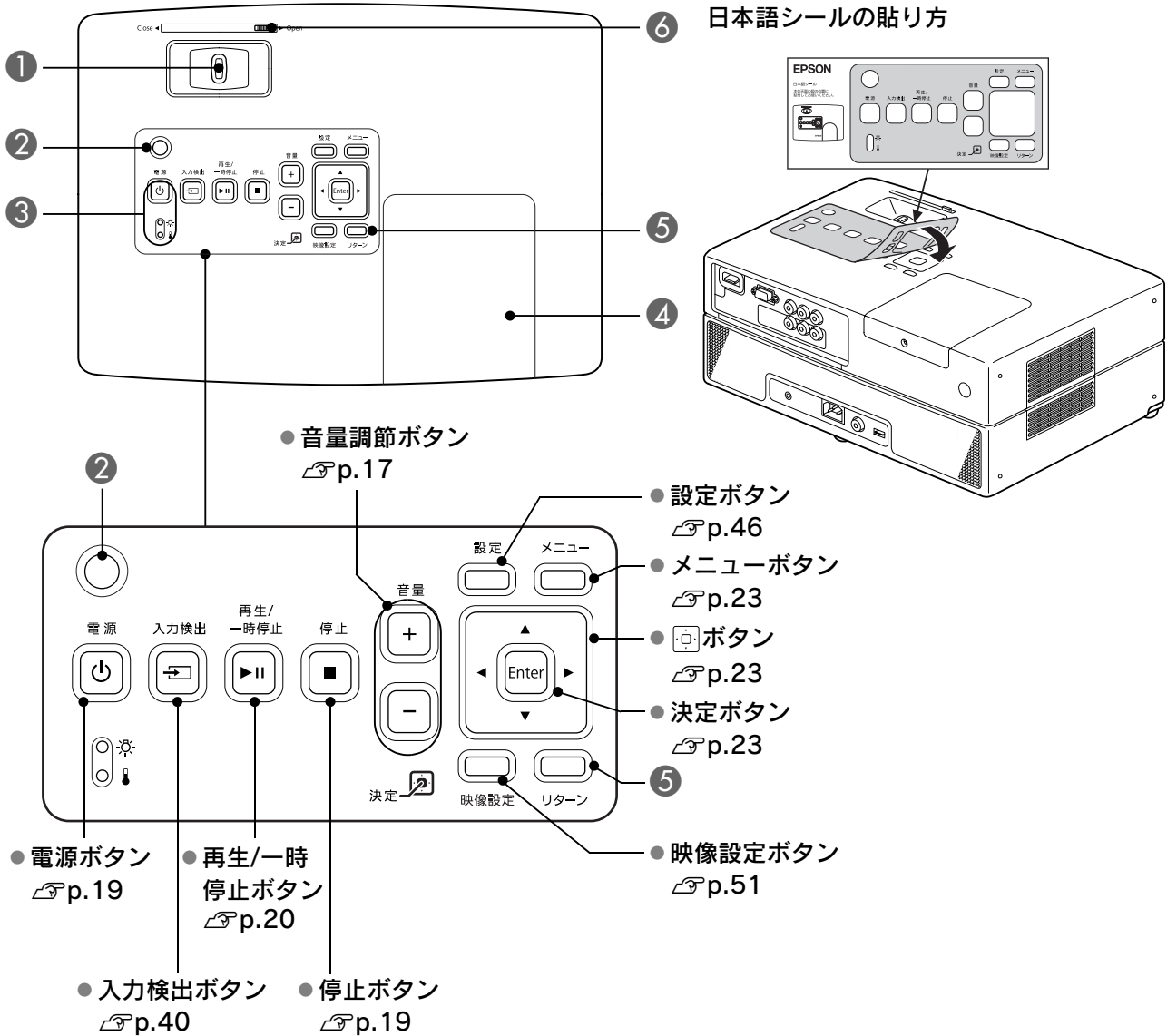
● 決定ボタン ☞p.23

● 映像設定ボタン ☞p.51

● 電源ボタン ☞p.19

● 再生/一時停止ボタン ☞p.20

● 入力検出ボタン ☞p.40

● 停止ボタン ☞p.19

名称	働き
❶ フォーカスリング	左右に動かして投写映像のピントを合わせます。☞p.17
❷ 明るさセンサー	部屋の明るさを感知します。カラーモードを「オート」にすると、明るさに応じて最適な画質に設定します。☞p.22
❸ 状態インジケーター	本機に異常が発生したときに点灯・点滅して異常の内容を示します。☞p.55
❹ ランプカバー	ランプの交換時にこのカバーを開けて、中のランプを交換します。☞p.62
❺ リターンボタン	実行中の機能を終了します。メニューを表示中に押すと1つ上の階層に戻ります。
❻ レンズカバー開閉つまみ	ツマミをスライドしてレンズカバーを開閉します。☞p.15

リモコン

便利な機能

- 画面表示 1 p.32
- リピート 2 p.27
- プログラム 3 p.29
- スリープ p.33
- サラウンド 4 p.44
- サウンド 5 p.45
- ズーム 6 p.30
- アスペクト p.34
- ユーザー 7 p.53

再生時に使うボタン

- ▶ p.19
- ❚❚ p.20, 21
- ◀◀ p.20, 21
- ▶▶ p.20, 21
- ❙◀◀ p.21
- ▶▶❙ p.21
- ■ p.19
- 設定 p.46
- メニュー p.23, 26
- 映像設定 p.51
- 決定 p.23, 24, 26
- ▶ ◀ ▲ ▼ p.23, 24, 25

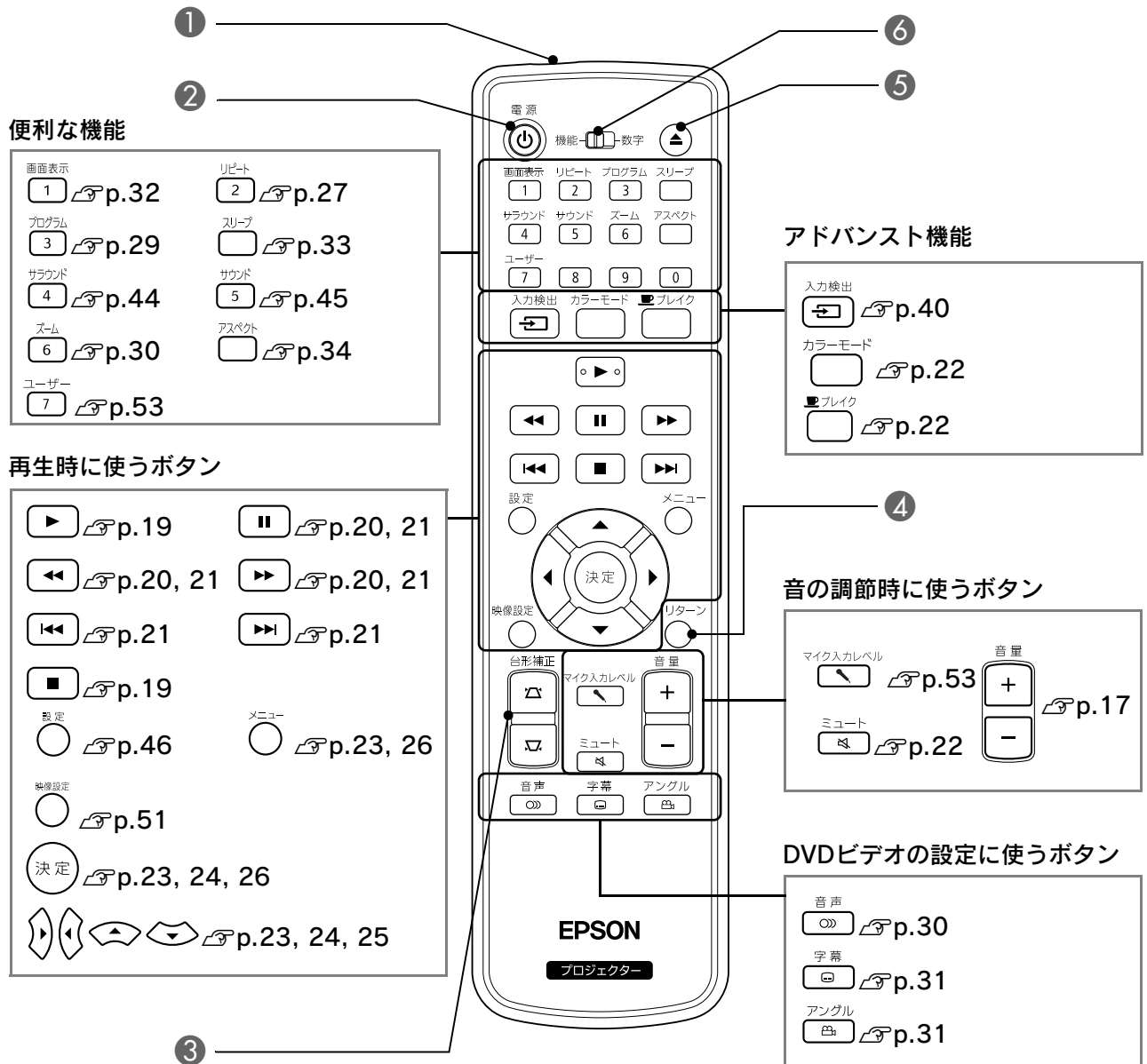
アドバンスト機能

- 入力検出 p.40
- カラーモード p.22
- ブレイク p.22

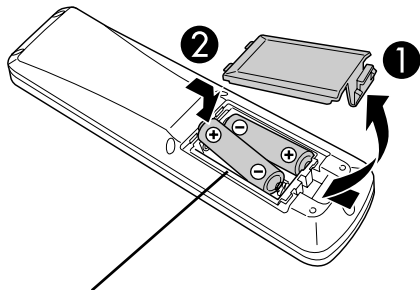
音の調節時に使うボタン

- マイク入力レベル p.53
- ミュート p.22
- 音量 + − p.17

DVDビデオの設定に使うボタン

- 音声 p.30
- 字幕 p.31
- アングル p.31

	名称	働き
❶	リモコン発光部	リモコン信号を発信します。p.13
❷	(電源ボタン)	本機の電源をオン/オフします。p.19
❸	(台形補正ボタン)	映像が台形にゆがんでいるときに押して四角くなるように補正します。p.18
❹	リターン	実行中の機能を終了します。メニューを表示中に押すと1つ上の階層に戻ります。
❺	(取り出しボタン)	ディスクスロットからディスクを取り出すときに押します。p.19
❻	機能/数字 切替スイッチ	数字と機能が併記されたボタンの働きを切り替えます。機能を実行したいときは機能側にスイッチを設定します。p.23

リモコンの準備

乾電池のセット

お買い上げ時は、リモコンに電池はセットされていません。
同梱の乾電池をセットしてからお使いください。

❶ **裏ブタのタブを押したまま、持ち上げます。**

❷ **乾電池を正しい向きで入れます。**

❸ **フタを閉めます。**

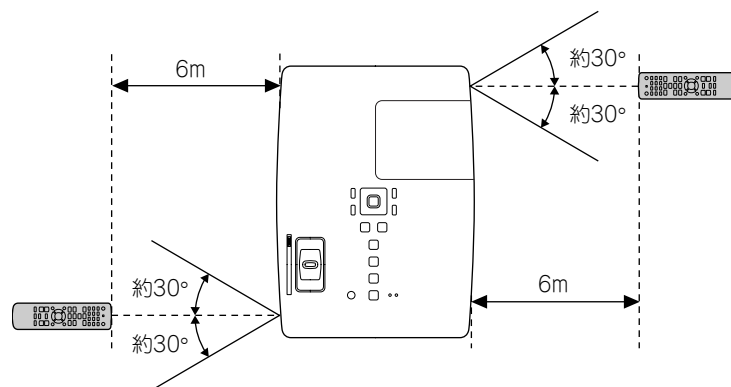
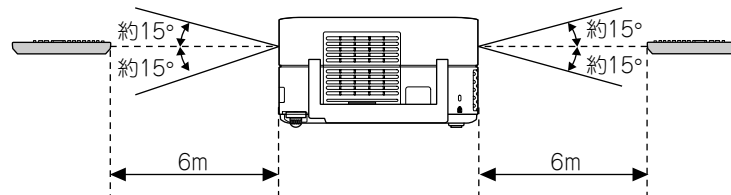
⚠ 注意

電池ホルダー内の表示を確認し、(+)(−)を正しく入れてください。

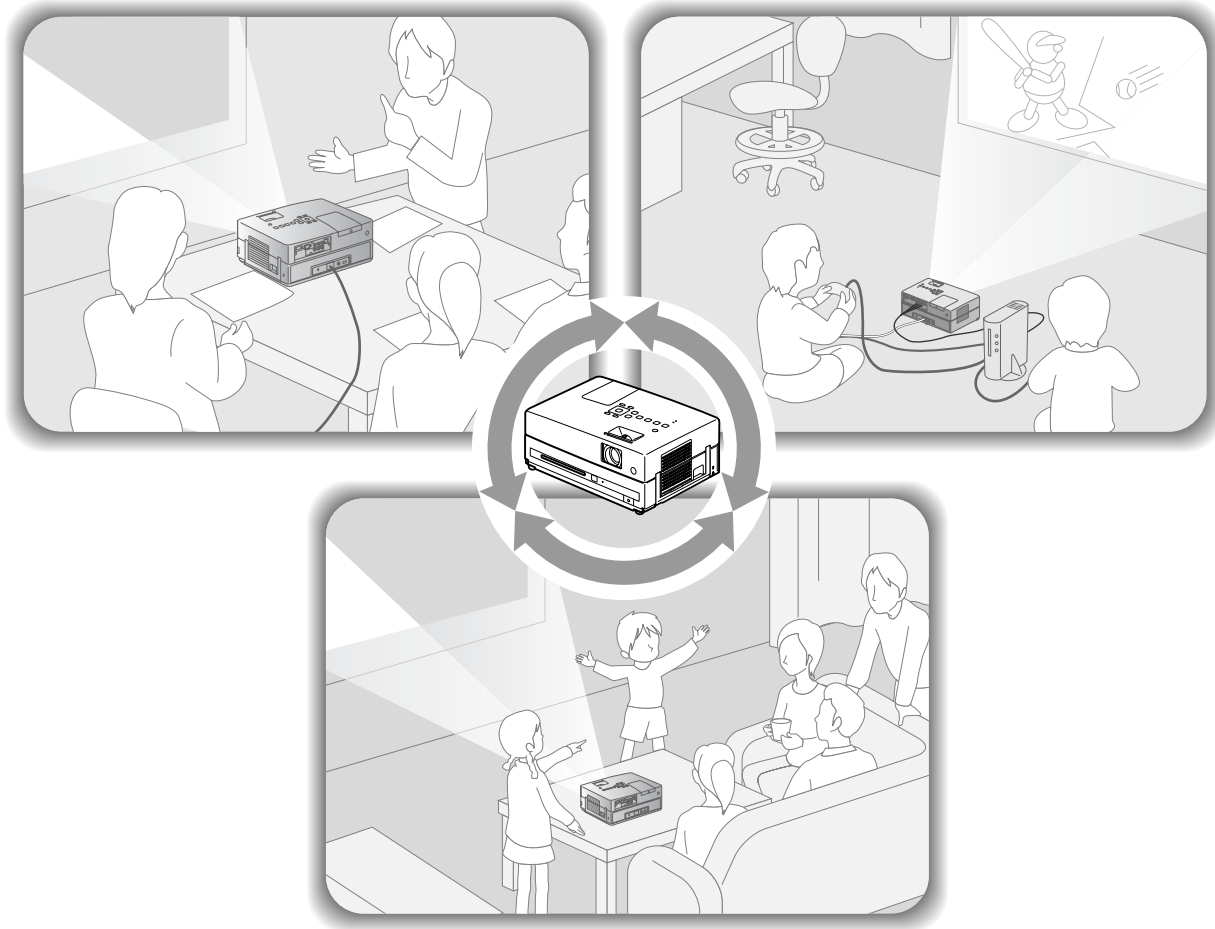
ポイント

使い続けているうちにリモコンの反応が遅くなったり、操作ができなくなった場合は、電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。交換用の電池には、新品の単3形アルカリまたはマンガン乾電池2本を用意してください。単3形アルカリまたはマンガン乾電池以外の電池は使用できません。

リモコンの使用範囲

操作可能範囲(左右)

操作可能範囲(上下)

ポイント

本機のリモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光が直接あたらないようにしてください。リモコンからの信号を受信できないことがあります。

すぐ観たいとき

再生の手順

面倒な配線作業は不要です。テレビの種類選択や、入力切替などの操作も不要です。
次の4ステップで簡単に大画面でDVDを鑑賞できます。
標準装備のスピーカーはバーチャルサラウンドに対応しているので、左右2つのスピーカーでマルチスピーカーから得られる臨場感や立体感のある音響が楽しめます。

スクリーンの前に置く。
p.15

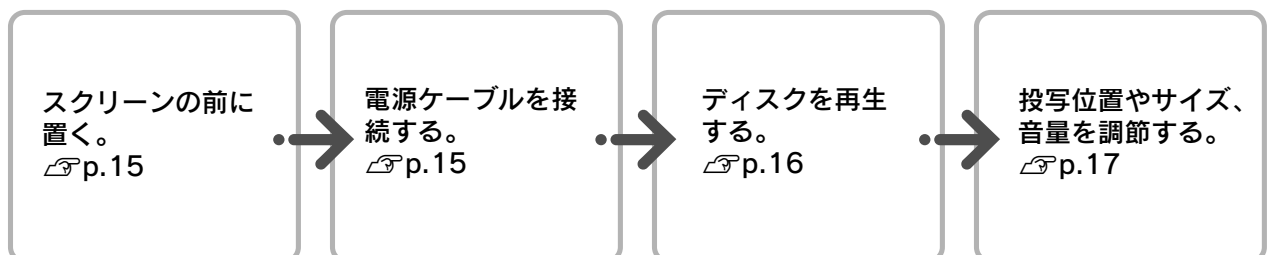
→

電源ケーブルを接続する。
p.15

→

ディスクを再生する。
p.16

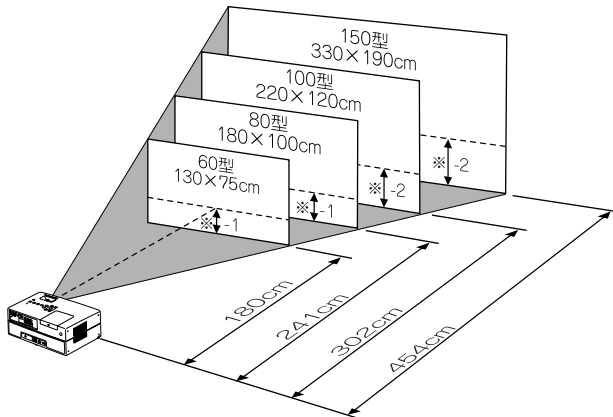
→

投写位置やサイズ、音量を調節する。
p.17

設置

スクリーンサイズとスクリーンまでの距離

❶ スクリーンに映像が最適な大きさで映るように設置します。

例えば、16:9の80型スクリーンに投写するときはスクリーンから約241cm離して設置します。

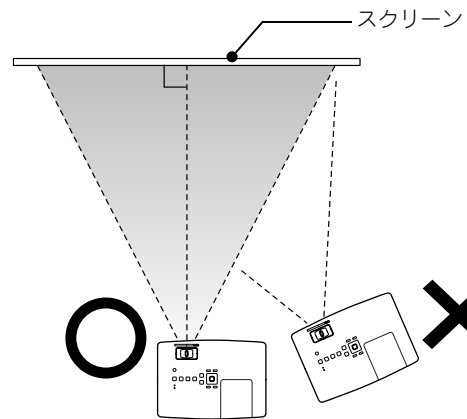
150型
330×190cm
100型
220×120cm
80型
180×100cm
60型
130×75cm
※ -2
※ -2
※ -1
※ -1
180cm
241cm
302cm
454cm

※レンズ中心からスクリーン下端までの高さ

本機をスクリーンから離すほど、投写画面は大きくなります。値は目安です。

投写距離の詳細値☞p.64

❷ 本機をスクリーンに対して平行になるように設置してください。

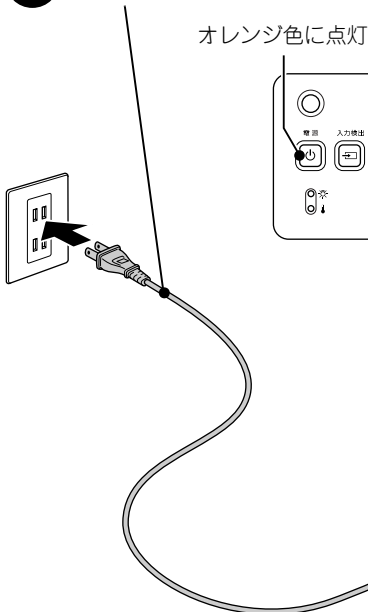
スクリーン

○ ×

スクリーンに対して本機が斜めになっていると、投写画面が台形状にゆがみます。

すぐ観たいとき

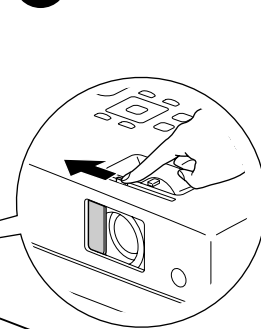
電源ケーブルの接続

❶ 電源ケーブルを接続します。

オレンジ色に点灯

❷ レンズカバーを開けます。

ディスクの再生

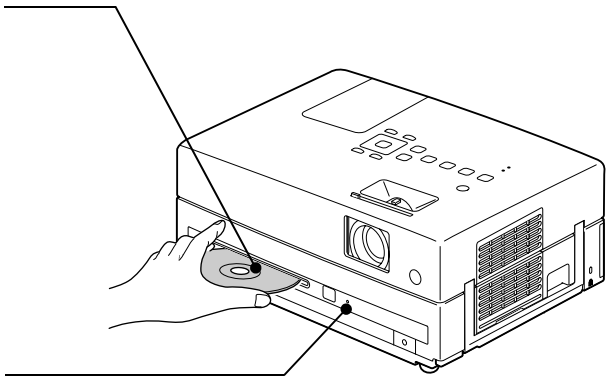
ディスクを再生し投写する

DVDビデオ ビデオCD MP3/WMA JPEG DivX

❶ ディスクのラベル面を上に向けてディスクスロットに挿入します。

両面ディスクは再生する面を下にして挿入します。

8cmディスクはディスクスロットの中央に挿入します。

「ピッ」と鳴り、電源が入ります。

ディスクを挿入するとDiscインジケーターが緑色に点灯します。

注意

CD/DVDレーベルシールやラベルシールを貼り付けたディスク、結露した状態のディスクは使用しないでください。誤作動や故障の原因になります。

❷ 再生を開始します。

自動的に投写ランプが点灯し、投写が始まります。ランプが点灯してから映像がしっかり映るまでには、約30秒かかります。

メニューが表示されたときは

DVDビデオ p.23

MP3/WMA DivX p.24

ポイント

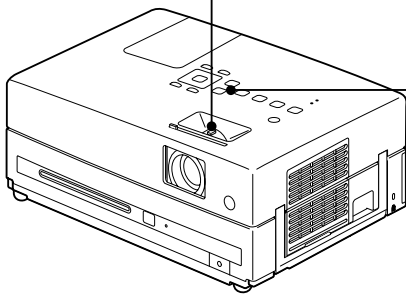
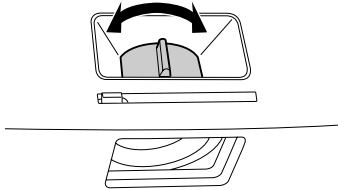
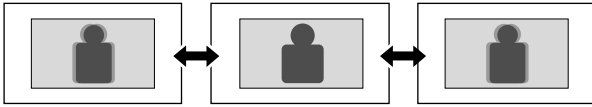
標高が約1500m以上の地域で使うときは、「高地モード」を「オン」に設定してください。p.53

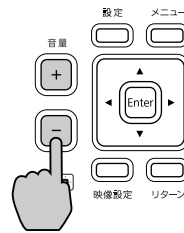
⚠ 注意

- 電源投入後は、絶対にレンズをのぞかないでください。
- レンズカバーを閉じてからディスクの挿抜を行ってください。

投写位置や音量の調節

投写された映像や音量を調節します。

ピント調整（フォーカスリング）

音量の調節（ボリューム）

本体の場合

リモコンの場合

投写サイズの微調整（ズーム）

投写サイズは映像設定メニューで調整します。
☞p.51

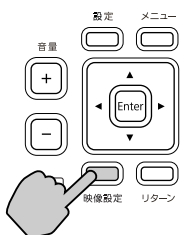
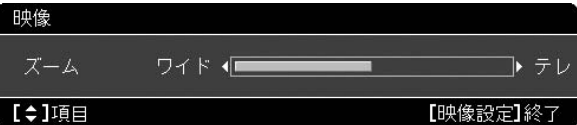
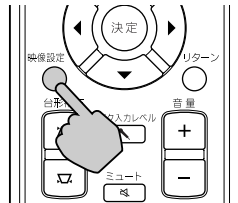
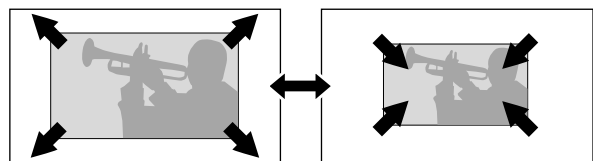
❶ 映像設定 ◯ を押し、「映像」-「ズーム」の順に選択します。

本体の場合

リモコンの場合

映像		
ズーム	ワイド ◀ ▶ テレ	
[⇕]項目		[映像設定]終了

❷ ▶ ◀ で大きさを調整します。

"投写位置や音量の調節"つづく

映像の台形ゆがみを補正する（台形補正）

- **映像の高さ調整**

本機は上下の傾きを自動で検出して映像の台形のゆがみを補正します。補正が十分でないときはリモコンまたは映像設定メニューから行います。☞p.51

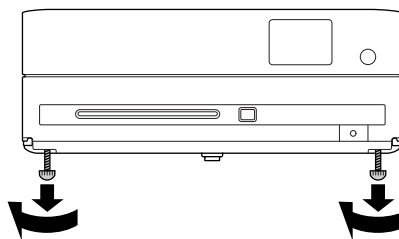
投写映像を上方向に投写したいときは本機左右のフットレバーを押して高さを調節します。

フットレバーを押すとフロントフットで調節できます。上方向に最大10°まで傾けられます。フットを伸ばすときは、本機が左右水平になるようにフットを調整してください。

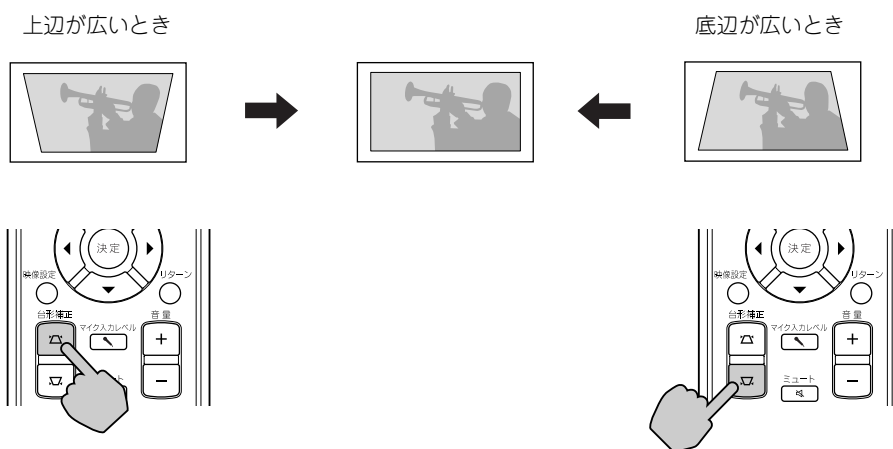
注意

持ち運ぶときにはフロントフットを必ず収納してください。

- **映像のゆがみの解消**

フットを回して本機の水平方向の傾きを調整します。

フットを伸ばして本機を傾けると、投写映像が台形状にゆがみます。
台形ゆがみは次の操作で補正できます。

上辺が広いとき

底辺が広いとき

本機の傾斜角度が上下方向に最大約30°までであれば補正できます。
傾斜角度が大きくなるにつれてピントが合いにくくなります。

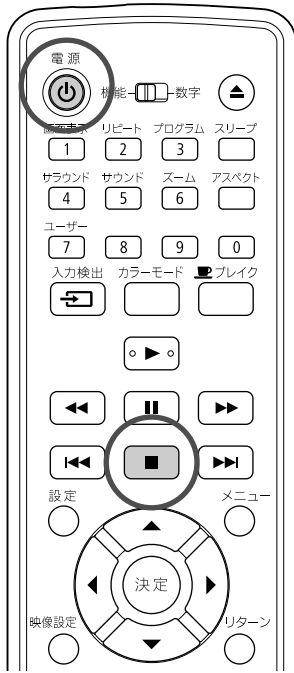
再生を止める

DVDビデオ / ビデオCD / 音楽CD / MP3/WMA / JPEG / DivX

[■]を押します。

DVDビデオ ビデオCD 音楽CD DivX は停止した後、[▶]を押すと停止した場面から再生を再開します(リジューム再生)。

リジューム再生時の留意点

- [■]を2回押すとリジュームは解除されます。
- JPEG でファイルリストが表示されるディスクとVRフォーマットで記録された DVDビデオ はリジューム再生できません。
- リジューム再生は1枚のディスクにのみ有効です。
- 再生を再開する位置が、停止した位置と少し異なることがあります。
- 停止位置と一緒に音声言語、字幕言語、アングルの設定も記憶されます。
- ディスクのメニューを表示中に停止すると、リジューム再生できないことがあります。

電源を切る

❶ 再生を停止後、(⏏)を押してディスクをディスクスロットから取り出します。

- (⏏)を押して、一旦ディスクスロットから出た状態のディスクをもう一度見たいときは、ディスクを手で押してもディスクスロットに挿入できません。(⏏)を押してください。

❷ (⏻)を押します。

本体の[⏻]はリモコンの(⏻)と同様に操作できます。

❸「ピッ、ピッ」とブザーが鳴ったら電源プラグをコンセントから外します。

(⏻)を押して電源を切っただけでは、電力を消費しています。

❹ レンズカバーを閉めます。

レンズにホコリや汚れがつかないように、使わないときはレンズカバーを閉めてください。

- 終了後すぐに電源を入れ直したときは、投写までの時間が通常より長くなります。

注意

「ピッピッ」と鳴る前に電源ケーブルを抜くと、光学部品の早期劣化や故障の原因となります。

再生中の基本操作

以降は、おもにリモコンのボタンを使って説明します。操作パネルに同じマークのボタンがあれば、操作パネルからも同様に操作できます。

静止する（一時停止）

DVDビデオ　ビデオCD　音楽CD　MP3/WMA　JPEG　DivX

再生中に、[Ⅱ]を押します。

- 操作パネルでは[再生/一時停止 ►Ⅱ]を押します。
  [再生/一時停止 ►Ⅱ]は、押すたびに一時停止/再生を繰り返します。
- 再生に戻るには[►]を押します。

早戻し/早送り

DVDビデオ　ビデオCD　音楽CD　MP3/WMA　DivX

再生中に[◄◄]、または[►►]を押します。

- 戻し/送りスピードは5段階あり、ボタンを押すたびに変わります。
- 通常の再生に戻るには[►]を押します。

ポイント　ディスクによっては、早送り/早戻し中は音声が途切れたり、出ないものがあります。

頭出しする(スキップ)

DVDビデオ ビデオCD 音楽CD JPEG DivX

再生または一時停止中に[⏮]、または[⏭]を押します。

DVDビデオ ビデオCD はチャプター/トラックの再生途中で[⏮]を1回押すと、再生中のチャプター/トラックの先頭に戻ります。先頭に戻ったときに[⏮]を押すと1つ前のチャプター/トラックの先頭に戻ります。以降、[⏮]を押すたびに1つ前のチャプター/トラックの先頭に戻ります。

ポイント
- リジューム中は、無効になります。
- DVDビデオ は一時停止中に[⏮]/[⏭]を押すと一時停止を解除し、前のチャプター(ファイル)/次のチャプター(ファイル)を再生します。

コマ送りする

DVDビデオ ビデオCD DivX

一時停止中に[⏸]を押します。

- [⏸]を押すたびに、1コマずつ進みます。本機には、コマ戻しの機能はありません。
- 通常の再生に戻るには[▶]を押します。

スローモーション再生

DVDビデオ ビデオCD

1. **スローモーション再生を始めたいところで、[⏸]を押して一時停止します。**
2. **[▶▶]を押します。**

- 再生スピードは4段階あり、[▶▶]を押すたびに変わります。
- DVDビデオ は、[◀◀]を押してスローモーション戻しを行えます。戻しスピードは4段階あり、[◀◀]を押すたびに変わります。
- 通常の再生に戻るには[▶]を押します。
- スローモーション再生中は、音声は出ません。

一時的に投写光を照明として使う(ブレイク)

DVDビデオ / ビデオCD / 音楽CD / MP3/WMA / JPEG / 外部ビデオ・PC / DivX

映画を観ている途中で、ちょっと飲み物を持ちに立ちたいときなどは、ブレイク機能を使うと便利です。再生中のディスクを一時停止し、立ち上がって部屋の照明をつけるまでを [ブレイク] を押すだけでできます。

再生中に [ブレイク] を押します。

- 投写ランプはついたままで、投写映像が消えます。画面右下に が表示されたり、消えたりします。
- ブレイク状態のまま、約5分間何も操作せずに放置するとスクリーンが暗くなります。さらに約30分経過すると、本機の電源が自動的にオフになります。
- ブレイクを実行する前の状態に戻すには [ブレイク] を押します。電源がオフのときは、⏻を押して電源を入れ直してください。

ポイント
- ディスクのメニューが表示されているときは、操作できません。
- 次のいずれかのボタン操作を行うと、ブレイクが解除され操作したボタンの機能が働きます。

▶、⏻、■、⏏、[入力検出]

お部屋の状況に合わせて画質を選ぶ(カラーモード)

DVDビデオ / ビデオCD / 音楽CD / MP3/WMA / JPEG / 外部ビデオ・PC / DivX

お部屋の明るさなどに応じて、最適な画質を選ぶことができます。

❶ **[カラーモード] を押します。**

画面に現在のカラーモード名が表示されます。

ダイナミック

❷ **カラーモード名が表示されている間に繰り返し [カラーモード] を押して、目的のカラーモード名を表示させます。**

数秒待つとカラーモード名が消えて画質が切り替わります。

- **オート(おまかせカラーモード)**:お使いの環境に最適なモードを選択します。
- **ダイナミック**:遮光した明るい部屋で使用するのに適しています。
- **リビング**:少し暗い部屋で使用するのに適しています。
- **シアター**:真っ暗な部屋で使用するのに適しています。
- **ゲーム**:遮光した明るい部屋でスピードを伴うゲームをするのに適しています。

- 「ゲーム」は 外部ビデオ・PC のときのみ選択できます。

光量を調整する(オートアイリス)

「オートアイリス」は映像設定メニューで設定します。p.52
「オートアイリス」を有効にすると、映像の明るさに合わせて光量が自動的に調整され、奥行きと深みのある画像になります。
カラーモードが「オート」の時は設定できません。

❶ **[映像設定] を押し、「画質」→「オートアイリス」の順に選択し、決定します。**

❷ **▶ ◀ で「オン」を選択し、決定します。**

❸ **[映像設定] を押してメニューを終了します。**

音声を一時的に止める(消音)

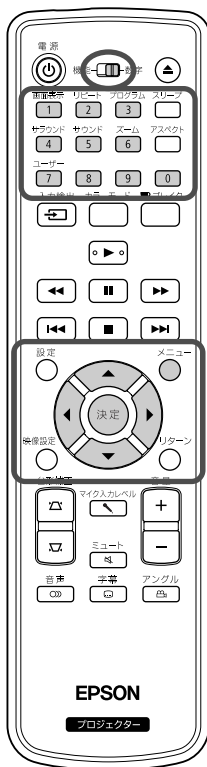
再生中に [ミュート] を押します。

- スピーカー、ヘッドホンから音が出なくなります。
- 通常の再生に戻るには [ミュート] を押します。本機の電源を入れ直したときも、元の音量に戻ります。

もっと使いこなそう

いろいろな再生機能

DVDのメニューから再生する

DVD ビデオ

DVDビデオには、次のような独自のメニューが記録されているものがあります。
- **トップメニュー：**複数のタイトル（映像や曲）が記録されているときに、ディスクの総合情報が表示されます。

トップメニューを表示させるには

メニュー ◯ を約3秒間押すとトップメニューが表示されます。

- **メニュー：**タイトル固有の再生データ（チャプターメニュー、アングルメニュー、音声メニュー、字幕メニュー）が表示されます。

1 **再生中に メニュー ◯ を押します。**

2 **◀▶▲▼を押して、観たい項目を選びます。**

数字ボタンを使って、直接タイトル番号やチャプター番号を選択することもできます。

数字ボタンを使うとき

機能/数字切替スイッチを［数字］側に切り替えてから、次のボタンを押します。

例） 5：5　　10：1 → 0
15：1 → 5　　20：2 → 0

数字ボタンでの入力が終わったら、機能/数字切替スイッチを［機能］側に戻します。

3 **決定 を押します。**

ポイント
- ディスクによっては、メニューが記録されていないものがあります。メニューが記録されていないときは、操作できません。
- ディスクによっては、決定を押さなくても再生が始まるものもあります。

JPEG・MP3/WMA・DivX®再生

JPEG MP3/WMA DivX データCD

JPEG MP3/WMA DivX が記録されたディスクやUSBストレージは、ファイルリストから再生するファイルを選択して再生しますが、ファイルにより次のように動作が異なります。

- JPEG はフォルダー内のファイルを選択すると、選択したファイルを先頭に、そのフォルダー内に記録されているJPEGファイルを順次スライドショー再生します。
- MP3/WMA は最初のファイルが自動的に再生されます。別のファイルを再生したいときは表示されているファイルリストから選択します。

Kodak Picture CDはディスクをディスクスロットにセットすると自動的にスライドショーが始まります。

プログラム 3 を押すとフォルダー内のファイルがすべて表示されます。もう1回押すとフォルダーごとの表示に戻ります。

1 **JPEG MP3/WMA DivX が記録されているディスクやUSBストレージを再生すると、次のようなファイルリストが表示されます。**

01:41 04:44 128Kbps
003/005
\
Folder_01
Folder_02
Track_01
Track_02
Track_03

2 **▼ ▲ を押してフォルダーやファイルを選択します。**

- ファイルリストが表示されているときに ⏭ ⏮ を押すと次ページ、前ページが表示されます。次ページがないときは ⏭ ⏮ は無効です。

3 **▶ 、または 決定 を押して再生を行います。**

JPEG DivX とフジカラーCDは再生中に メニュー を押すとファイルリストに戻ります。

- DivX は ■ を2回押すとファイルリストに戻ります。

スライドショー再生と実行中の操作

- 次の画像に切り替わる間隔は、画像サイズにより異なります。
- スライドショーはフォルダー内の JPEG ファイルをすべて投写し終わると、自動的に停止します。
- ▶◀を押すと映像を回転できます。
- ▲を押すたびに映像を上下反転できます。
- ▼を押すたびに映像を左右反転できます。
- スライドショーを実行中に■を押すとスライドショーが解除されサムネイル一覧になります。
- スライドショーを実行中に メニュー を押すとファイルリストが表示されます。リストから再生するJPEGファイルを選択して▶を押すと、スライドショーが始まります。
- プログレッシブ JPEG ファイルはベースライン JPEG よりも表示に時間がかかります。
- USBストレージに記録されているJPEGファイルも同様にスライドショー再生されます。

もっと使いこなそう

サムネイル一覧での操作

- 12ファイル以上のJPEGファイルが記録されているときは ⏭⏮を押して次ページ、前ページを表示できます。
- 投写したいサムネイルを選択し 決定 を押すと選択した位置からスライドショーを再開します。
- メニュー を押すとファイルリストが表示されます。リストから再生するJPEGファイルを選択して▶を押すと、スライドショーが始まります。

MP3/WMAで音楽を再生しているときは

ファイルリストの選択が終わり、音楽が流れてきたらレンズカバーを閉めましょう。流れてくる音楽だけを楽しめます。

"JPEG・MP3/WMA・DivX®再生"つづく

MP3/WMAとJPEGの同時再生

ディスクにMP3/WMAとJPEGファイルが混在して記録されているときは、音楽付きのスライドショーを楽しむことができます。

MP3/WMAとJPEGファイルが混在して記録されているディスクをディスクスロットにセットするとMP3/WMAファイルが自動的に再生されます。表示されたファイルリストからJPEGファイルを選択すると、スライドショーが開始します。

- スライドショーはフォルダー内の JPEG ファイルをすべて投写し終わると、自動的に停止します。
- 同時再生中に[■]を押すとスライドショーが解除されサムネイル一覧になります。サムネイル一覧で投写したいサムネイルを選択し(決定)を押すと選択した位置からスライドショーを再開します。
- 同時再生中に(メニュー)を押すとファイルリストに戻ります。リストから再生するMP3/WMAファイルを選択して[►]を押し、次にスライドショーに使うJPEGファイルを選択して[►]を押すと、選択した内容で同時再生されます。
- USB ストレージに MP3/WMA と JPEG ファイルが混在して記録されているときも同様に音楽付きのスライドショーを楽しめます。

再生時の留意点
- ディスクの記録状態や特性により、再生できないことや読み取りに時間がかかることがあります。
- ディスクに記録されているフォルダーやファイルの数により、読み取り時間が異なります。
- ファイルリストに表示される順番とコンピューターの画面に表示される順番が異なることがあります。
- 市販の MP3 ディスクは、ディスクに記載されている順番と異なる順番で再生されることがあります。
- 静止画データの入った MP3 ファイルは、再生に時間がかかることがあります。再生が始まるまで経過時間は表示されません。また、再生が始まっても正確な経過時間が表示されないことがあります。
- コンピューターの画像編集ソフトなどで加工・編集・再保存したデータは再生できないことがあります。
- JPEGファイルをスライドショー再生したとき、作成したとおりのファイル順で再生されないことがありますが、再生の順番を変更することはできません。

チャプター/トラック番号を指定して再生するところを選ぶ

DVDビデオ ビデオCD 音楽CD MP3/WMA JPEG DivX

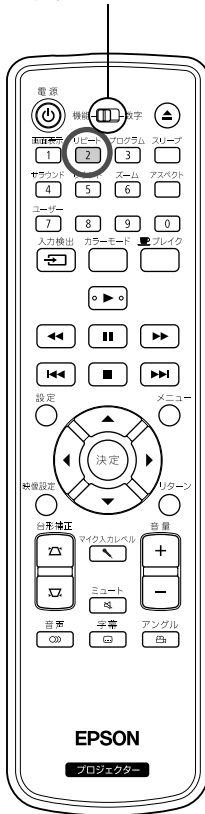
再生中または一時停止中に数字ボタンを押して、再生したいチャプター/トラック番号を指定します。

「数字ボタンを使うとき」p. 23

ポイント
- 音楽CD MP3/WMA JPEG は、停止中も操作できます。
- ディスクによっては操作ができないこともあります。

繰り返し(リピート)再生と順不同(ランダム)再生

DVDビデオ ビデオCD 音楽CD MP3/WMA JPEG DivX

操作を開始する前に[機能]側にセットします

下表のように、ディスクの種類によりタイトル･チャプター･トラックの範囲内で繰り返し再生することができます。

再生中に、リピート 2 を押します。

リピート 2 を押すたびにリピートの種類が切り替わり、スクリーンにアイコンやリピート名が表示されます。

チャプター

- ビデオCD をPBC機能を使って再生しているときは、実行できません。

DVDビデオ

画面表示	機能	内容
チャプター	チャプターリピート	現在再生中のチャプターを繰り返し再生します。
タイトル	タイトルリピート	現在再生中のタイトルを繰り返し再生します。
シャッフル	ランダム再生	タイトルやチャプターを順不同で再生します。
シャッフルリピート	ランダムリピート	ランダム再生を繰り返し行います。毎回再生される順序は異なります。
オール	リピートオール	ディスクの内容すべてを繰り返し再生します。
リピートオフ	リピート終了	リピート/ランダム再生を終了します。

もっと使いこなそう

"繰り返し(リピート)再生と順不同(ランダム)再生"つづく

ビデオCD 音楽CD

画面表示	機能	内容
トラック	トラックリピート	現在再生中のトラックを繰り返し再生します。
オール	ディスクリピート	ディスク内の全トラックを繰り返し再生します。
シャッフル	ランダム再生	ディスク内のトラックを順不同で再生します。
シャッフルリピート	ランダムリピート	ランダム再生を繰り返し行います。毎回再生される順序は異なります。
リピートオフ	リピート終了	リピート/ランダム再生を終了します。

MP3/WMA JPEG DivX

画面表示	機能	内容
シングル	1ファイルのみ再生	選択したファイルのみ再生します。
シングルリピート	ファイルリピート	現在再生中のファイルを繰り返し再生します。
フォルダーリピート	フォルダーリピート	現在再生中のフォルダー内のファイルを繰り返し再生します。
シャッフル	ランダム再生	現在再生中のフォルダー内のファイルを順不同で再生します。
リピートオフ	リピート終了	リピート/ランダム再生を終了します。

リピート再生を解除するには

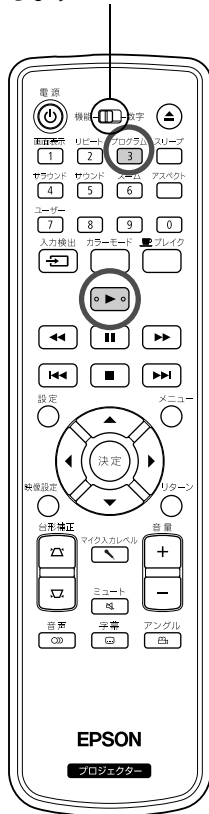
スクリーンに「リピートオフ」と表示されるまで、[リピート 2]を何度か押します。

ポイント

- DVDビデオ には、「タイトルリピート」ができないものがあります。
- 再生情報画面からもリピート再生を選択･実行できます。
  p.32
- プログラム再生中は[リピート 2]を押しても機能しません。

お好みの順番で再生する（プログラム再生）

DVD ビデオ　ビデオCD　音楽CD

操作を開始する前に［機能］側にセットします

タイトルやチャプター、トラックを好きな順番で予約して再生できます。

1　停止中または一時停止中に［プログラム 3］を押します。

再生順を設定するプログラム画面が表示されます。

2　数字ボタンを使って順番の番号にタイトル番号やトラック/チャプター番号を入力します。

「数字ボタンを使うとき」p. 23

- ［▶］［◀］［▲］［▼］を押してカーソルを移動できます。
- 10個以上のトラック/チャプターが記録されているときは［⏭］を押すか、画面の「次へ」を選択し［決定］を押すと次ページが表示されます。
  ［⏮］を押すか、画面の「前へ」を選択し［決定］を押すと前ページが表示されます。
- プログラム画面で「終了」を選択して［決定］を押すと、プログラム画面が解除されます。

3　再生順を設定し終わったら、画面の「開始」を選択して［決定］を押します。

- 設定した順番に従って、再生を開始します。
- 設定した予約をすべて再生し終わると、再生が停止します。

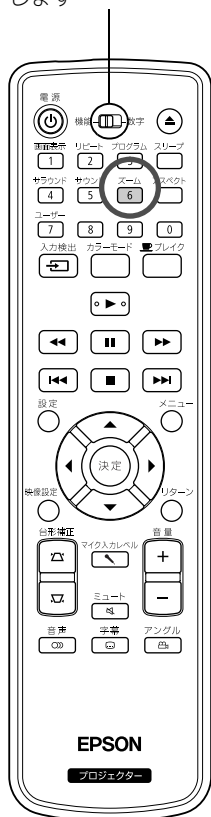
プログラム再生を解除するには
- ［■］を押す。
- 本機の電源を切る。

通常の再生に戻すには
停止後に［▶］を押します。

ポイント
- プログラム再生の設定は各ディスクに対して 20 トラックまたはチャプターまで設定できます。再生順を設定しているディスクをディスクスロットにセットして［プログラム 3］を押しプログラム画面で「開始」を選択するとプログラム再生を開始します。
- プログラム再生中は［リピート 2］を押しても機能しません。
- ディスクによっては、プログラム再生できないものもあります。

投写映像を拡大表示する(ズームイン)

DVDビデオ ビデオCD JPEG DivX

操作を開始する前に[機能]側にセットします

再生中の映像を拡大/縮小できます。また、拡大したためにスクリーンに表示しきれない部分をスクロールして表示させることができます。

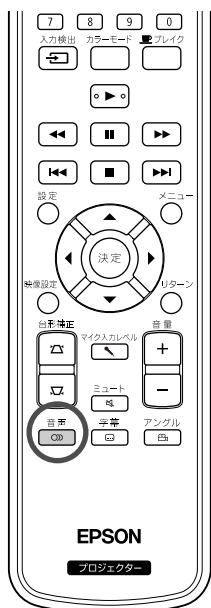
1 再生中に[ズーム 6]を押します。

2 繰り返し[ズーム 6]を押して希望する倍率を選びます。

- JPEG は拡大するときは[▶▶]、縮小するときは[◀◀]を押します。
- 映像を拡大後[▶][◀][▲][▼]を押すと映像がスクロールします。

- 元のサイズに戻すには倍率の表示が消えるまで[ズーム 6]を何度か押します。
- JPEG は[ズーム 6]を押すと元のサイズに戻ります。

音声言語の切り替え

DVDビデオ ビデオCD DivX

複数の音声方式や言語が記録されているディスクでは、その中からお好きな音声方式や言語に切り替えることができます。

1 再生中に、[音声]を押します。

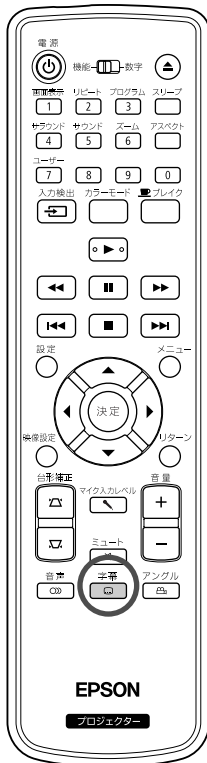
スクリーンに現在の音声設定が表示されます。

2 繰り返し[音声]を押して、希望する設定を選びます。

ポイント

- 再生情報画面から切り替えることもできます。☞p.32
- 言語コード(6978など)が表示されたときは ☞p.49

字幕表示の切り替え

DVDビデオ DivX

字幕が記録されているディスクでは、字幕の表示/非表示を切り替えることができます。複数の言語で字幕が記録されているときは、その中からお好きな言語に切り替えることができます。

1 **再生中に、[字幕]を押します。**

スクリーンに現在の字幕設定が表示されます。

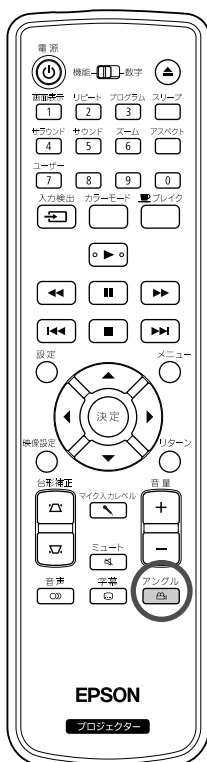
2 **繰り返し[字幕]を押して希望する設定を選びます。**

- 使用できる字幕がないときは⊘が表示されます。

ポイント

- 再生情報画面から切り替えることもできます。p.32
- DivXでは埋め込みの字幕と字幕ファイルの字幕を交互に切り替えられます。
  どちらも1行に最大半角で45文字(全角で27文字)まで、最高2行まで表示できます。上記制限を越える文字はすべて切り捨てられます。
  字幕ファイルの拡張子は以下のものが有効です。
  .srt　.smi　.sub　.ssa　.ass
  字幕ファイル名は映画のファイル名と同じでなければなりません。

アングルを切り替える

DVDビデオ

複数のアングルが記録されているディスクでは再生中に、正面からの映像を上から、あるいは右からなどお好きなアングルに切り替えることができます。

1 **再生中に、[アングル]を押します。**

スクリーンに現在のアングルが表示されます。

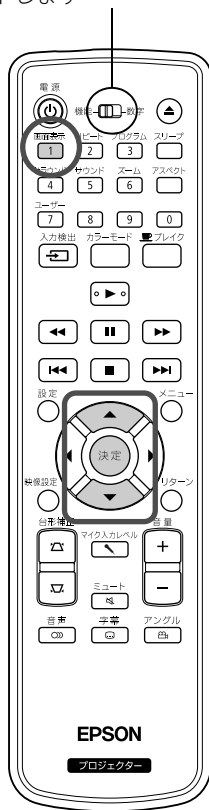
2 **繰り返し[アングル]を押して、希望するアングルを選びます。**

ポイント

再生情報画面から切り替えることもできます。 p.32

再生情報画面を使って操作する

DVDビデオ ビデオCD 音楽CD DivX

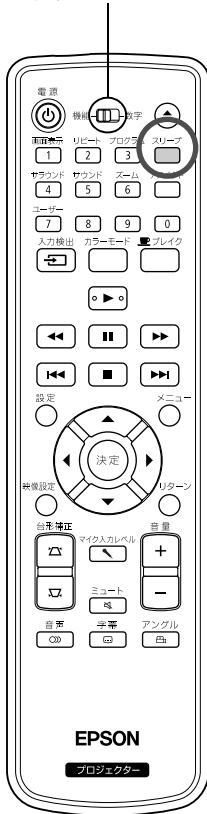
操作を開始する前に[機能]側にセットします

再生を中断することなく、再生状況の確認と設定変更ができます。

再生中に、[画面表示 1]を押します。

- DVDビデオ は[画面表示 1]を押すたびに再生時間の表示が以下のように切り替わります。
  「経過時間(TT)」→「残り時間(TT)」→「経過時間(Ch)」→「残り時間(Ch)」→「表示オフ」
- 音楽CD は[画面表示 1]を押すたびに再生時間の表示が以下のように切り替わります。
  「残り時間(Tr)」→「経過時間」→「残り時間」→「経過時間(Tr)」
- DivX は[画面表示 1]を押すたびに再生時間の表示が以下のように切り替わります。
  「経過時間」→「残り時間」→「表示オフ」

スリープタイマーの設定

DVDビデオ ビデオCD 音楽CD MP3/WMA JPEG DivX 外部ビデオ・PC

操作を開始する前に[機能]側にセットします

スリープタイマーで設定した時間が経過すると自動的に電源がオフになります。うっかり映画を見ながら眠ってしまっても、電源がついたままということを防げます。
スリープタイマーを「Sleep Off」に設定すると再生を停止・終了した状態で約30分間、何も操作をしないと自動的に電源がオフになります。

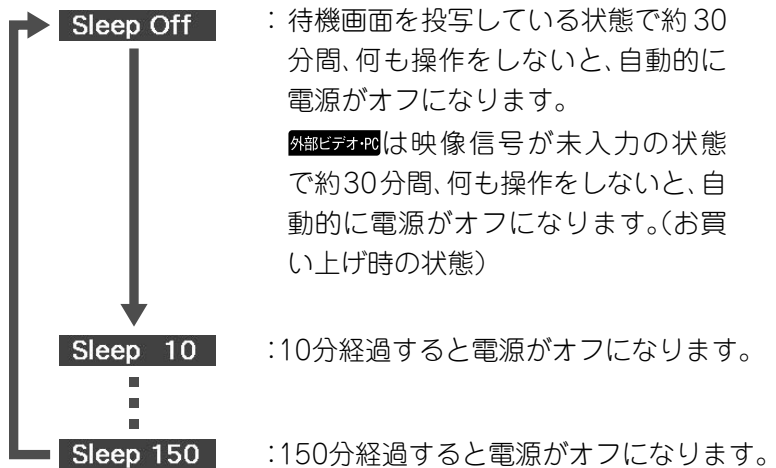
スリープ を押します。

- スリープ を押すと現在のスリープタイマーの設定が表示されます。

  スリープタイマーが表示されている間に繰り返し、スリープ を押して希望する設定を選びます。

Sleep Off ：待機画面を投写している状態で約30分間、何も操作をしないと、自動的に電源がオフになります。
外部ビデオ・PCは映像信号が未入力の状態で約30分間、何も操作をしないと、自動的に電源がオフになります。(お買い上げ時の状態)

Sleep 10 ：10分経過すると電源がオフになります。

Sleep 150 ：150分経過すると電源がオフになります。

スリープタイマーを設定していると
電源がオフになる約20秒前になるとスクリーンに「Sleep」と表示されます。

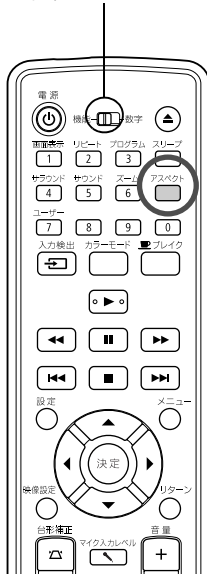
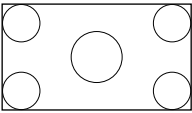
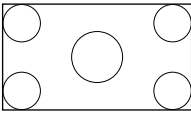
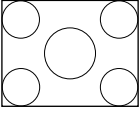
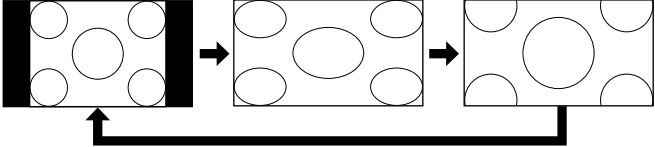
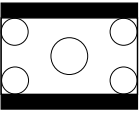
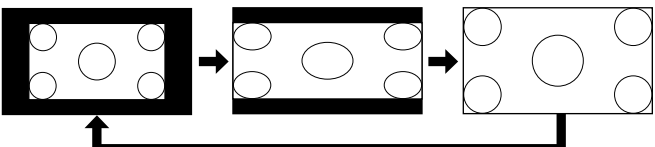
設定したスリープタイマーを変更するには
スリープ を繰り返し押して、時間を選び直します。

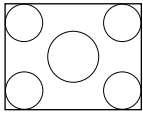
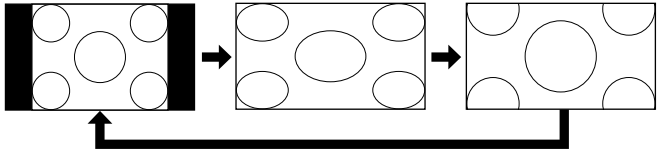
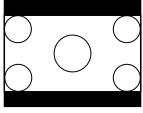
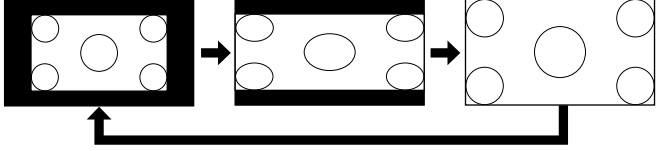
設定したスリープタイマーを確認するには
スリープタイマーが設定されているときに スリープ を1回押すと、スクリーンにスリープが実行されるまでの残り時間が表示されます。

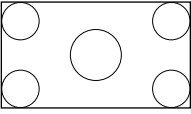
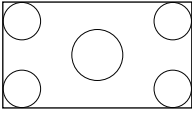
ポイント
- スリープタイマーの設定は記憶されません。電源をオフにすると、スリープタイマーは解除されます。
- 再生後メニューに戻るディスクは、「Sleep Off」に設定していても電源はオフになりません。

アスペクト比を切り替える

DVDビデオ　ビデオCD　JPEG　DivX　外部ビデオ・PC

操作を開始する前に［機能］側にセットします

本機は入力信号に合ったアスペクトを自動で認識し、適切なアスペクトで映像を投写します。アスペクトを任意に変更したいときや正しいアスペクトで投写されないときは次のように切り替えることができます。

アスペクト を押します。

- アスペクト を押すたびにスクリーンにアスペクト名が表示されアスペクトが切り替わります。
- ディスクの設定や映像信号により次のようにアスペクトを切り替えることができます。

内蔵DVDプレーヤーで投写しているとき

画面サイズ	アスペクト
16:9	フル(16:9)固定
4:3	ノーマル → フル → ズーム
レターボックス	ノーマル → フル → ズーム

※ JPEG スライドショー実行時はノーマル固定になります。

コンポーネントビデオ(SDTV)/HDMI(SDTV)/コンポジットビデオの映像を投写しているとき

画面サイズ	アスペクト
4:3	ノーマル → フル → ズーム
レターボックス	ノーマル → フル → ズーム

コンポーネントビデオ(HDTV)/HDMI(HDTV)の映像を投写しているとき

画面サイズ	アスペクト
16:9	フル(16:9)固定

コンピューターの映像を投写しているとき

ワイドパネルのコンピューター映像を投写しているときはノーマル固定(ワイド画面)になります。

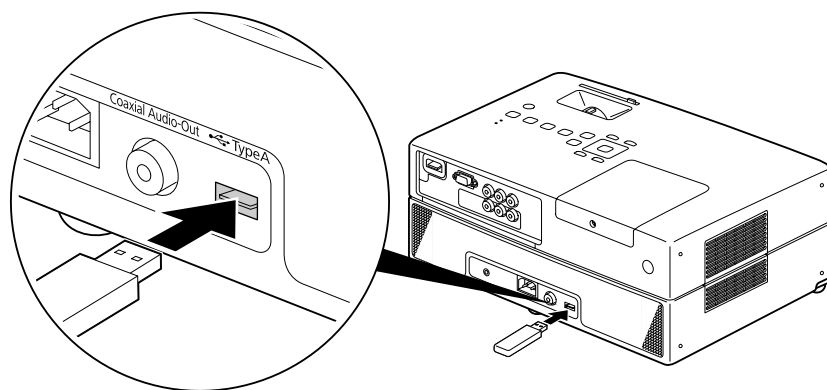
ワイドパネルのコンピューター映像が正しいアスペクトで投写されないときは アスペクト を押して適切なアスペクトになるように切り替えてください。

他の機器を接続して再生する

USBストレージの接続

USB1.1に準拠したUSBメモリーやマルチカードリーダーを接続して、記録されている以下のファイルを再生できます。USBストレージについては「再生できるUSBストレージ」を参照してください。p.8

- MP3/WMAファイル
- JPEGファイル
- DivX®ファイル

各ファイルの再生方法や再生中の操作は標準装備のDVDプレーヤーでデータCDに記録された上記ファイルを再生するときと同様です。

ポイント

- 次の状態でUSBストレージを本機に接続すると、入力ソースがUSBに切り替わり自動的に再生が始まります。
  ・標準装備のDVDプレーヤーでディスクを再生中または停止中。
  ・他のビデオ機器やテレビ、コンピューターと接続して再生中または停止中。
- USBハブを使用すると正しく動作しません。本機に直接USBストレージを接続してください。

注意

スライドショー実行中はUSBストレージを取り外さないでください。[■]を押してスライドショーを停止させてからUSBストレージを取り外してください。

他のビデオ機器やテレビ･コンピューターと接続する

本機は、標準装備のDVDプレーヤー以外に、コンピューターや次のようなビデオ出力端子を持つ機器を接続して映像を投写することができます。
･ビデオテープレコーダー　･ゲーム機　･テレビチューナー内蔵機器
･ビデオカメラなど

ビデオ機器の信号方式
ビデオ機器によっては何種類かのビデオ信号を出力できるものがあります。ビデオ信号の方式により画質が異なります。一般的に次の順で画質が良いとされています。
①HDMI → ②コンポーネントビデオ → ③コンポジットビデオ

どの信号方式で出力できるかはお使いのビデオ機器に添付の『取扱説明書』でご確認ください。
コンポジットビデオは単に「映像出力」と呼ばれることもあります。

ポイント
接続する機器が特有のコネクター形状をしているときは、その機器の同梱品またはオプションのケーブルで接続します。

注意
- 接続する機器の電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- レンズカバーを閉じてから接続作業を行ってください。レンズに指紋や皮脂が付くときれいに投写できません。
- ケーブルのプラグの向きや端子の形状が異なっているものを無理に押し込まないでください。機器の破損や故障の原因になります。

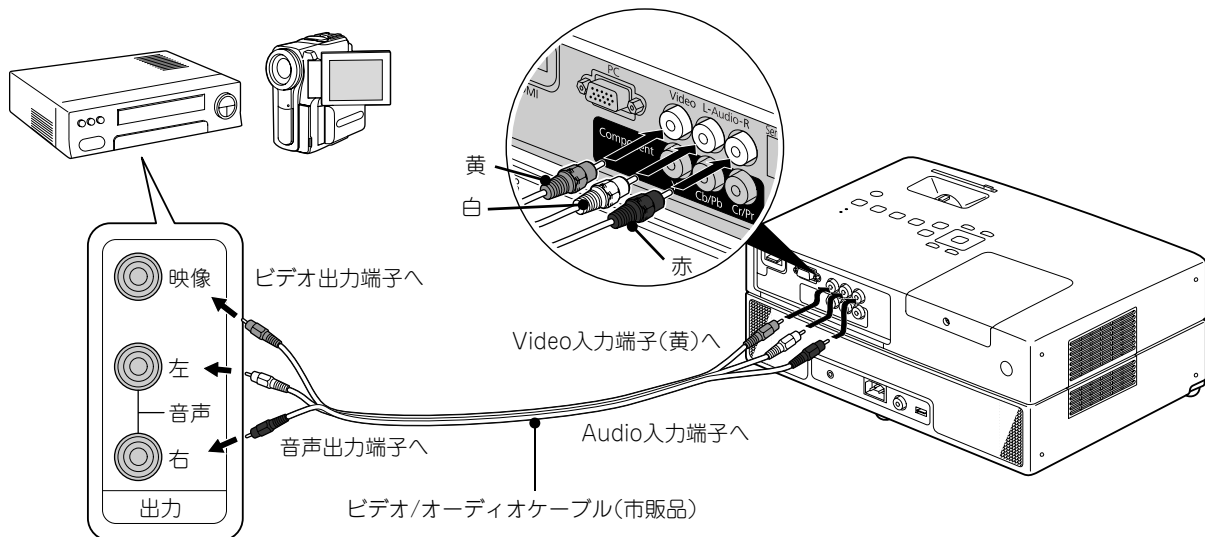
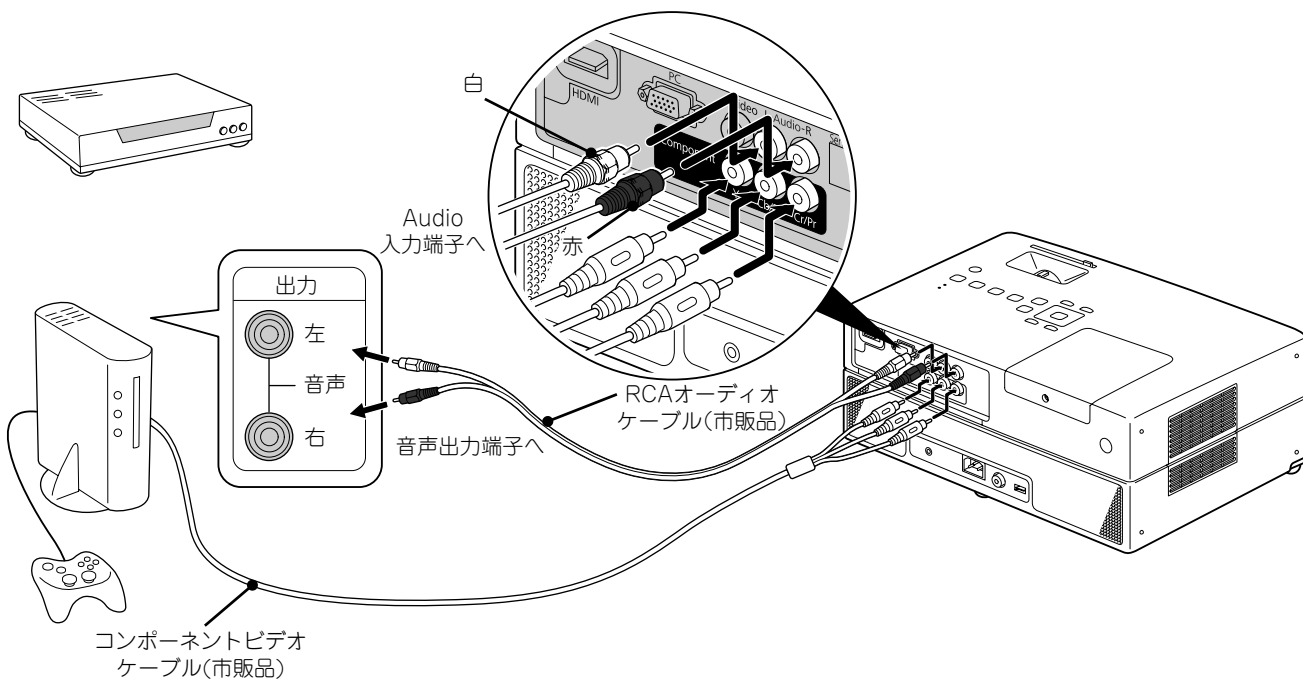
もっと使いこなそう

映像ケーブルで接続する

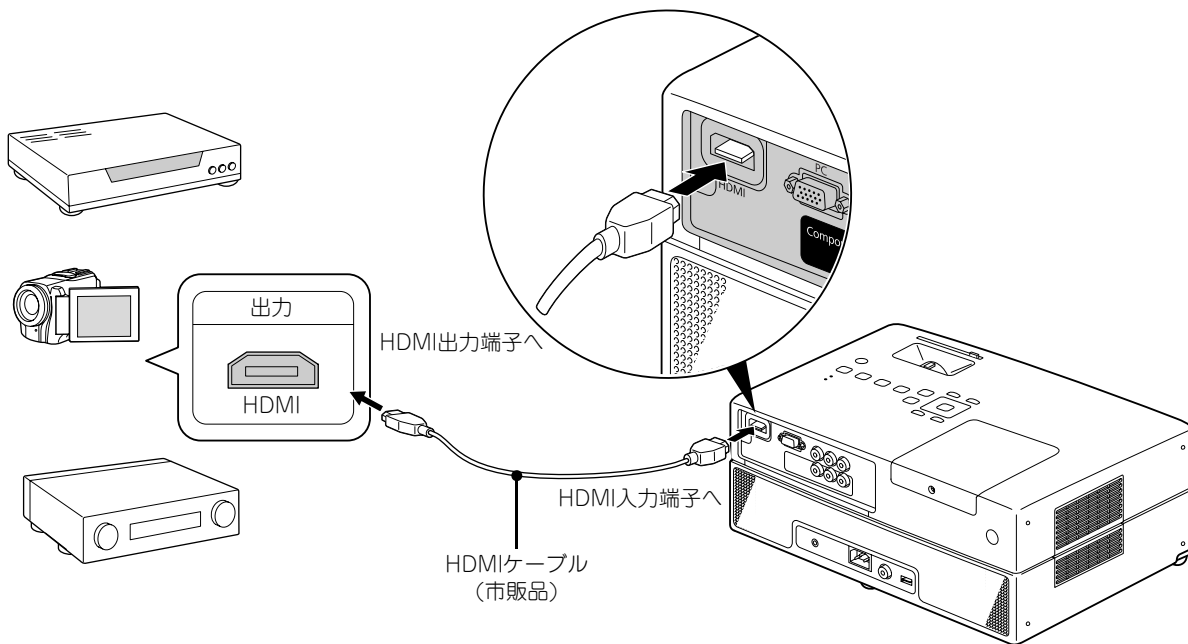
PC
Video
L-Audio-R
Component
Cb/Pb
Cr/Pr
黄
白
赤
映像
ビデオ出力端子へ
左
音声
右
出力
Video入力端子(黄)へ
Audio入力端子へ
音声出力端子へ
ビデオ/オーディオケーブル(市販品)

"他のビデオ機器やテレビ･コンピューターと接続する"つづく

コンポーネントビデオケーブルで接続する

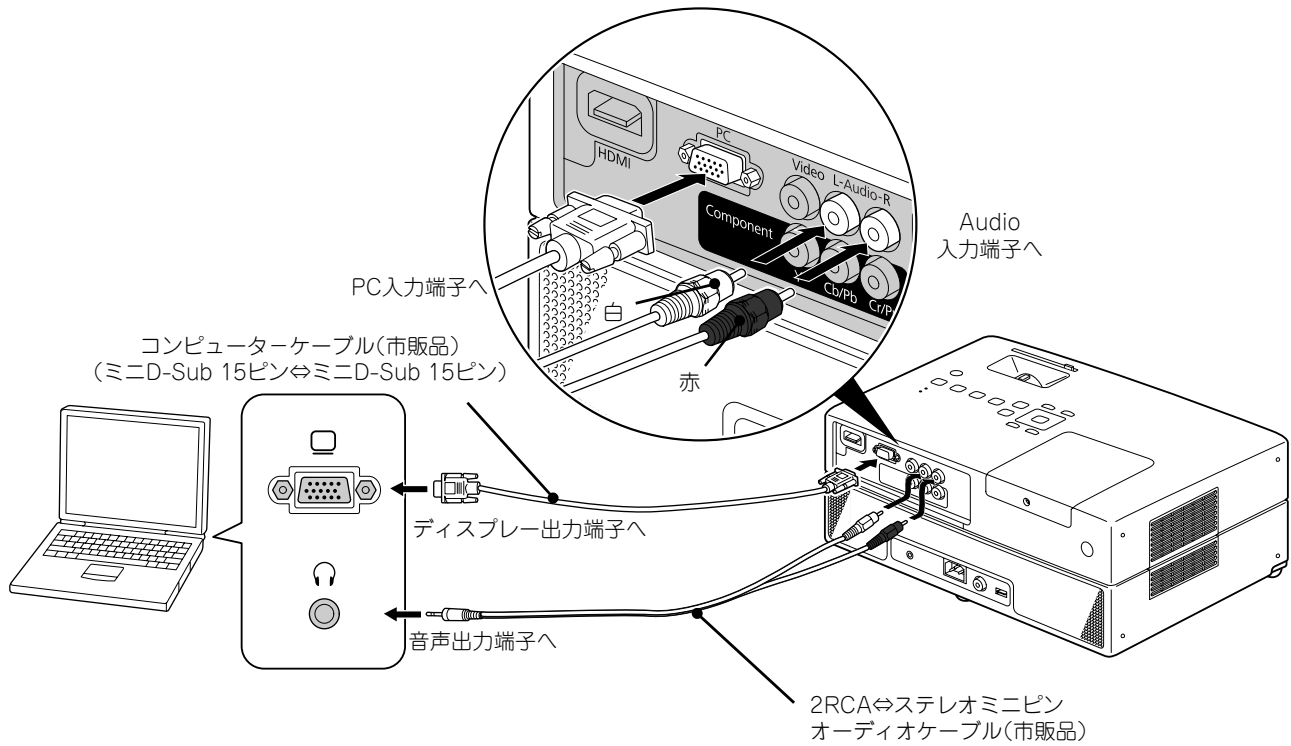
白
Audio
入力端子へ
赤
出力
左
音声
右
音声出力端子へ
RCAオーディオ
ケーブル(市販品)
コンポーネントビデオ
ケーブル(市販品)

ポイント
D端子出力機器の場合は市販のD端子-コンポーネント変換ケーブルで接続してください。

HDMIケーブルで接続する

出力
HDMI
HDMI出力端子へ
HDMI入力端子へ
HDMIケーブル
(市販品)

HDMIケーブルは、HDMI規格に適合しているものをお使いください。HDMI規格に適合していないケーブルを使うと映像が途切れる、映らないなど正しく動作しないことがあります。

ポイント
音声はPCMに対応しています。音声が出ないときは、接続先の機器の設定をPCM出力にしてください。

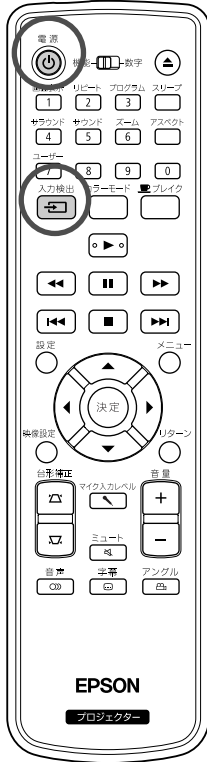
コンピューターとの接続

HDMI
PC
Video
L-Audio-R
Component
Cb/Pb
Cr/Pr
Audio
入力端子へ
PC入力端子へ
白
赤
コンピューターケーブル(市販品)
(ミニD-Sub 15ピン⇔ミニD-Sub 15ピン)
ディスプレー出力端子へ
音声出力端子へ
2RCA⇔ステレオミニピン
オーディオケーブル(市販品)

ポイント

市販の2RCA⇔ステレオミニプラグのオーディオケーブルを使うときは「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。

外部ビデオ機器やコンピューターの映像を投写する

本機は入力信号を自動検出して切り替えることができます。
本機に接続している機器から映像信号が入力されているかを自動検出し、映像信号が入力されている機器の映像を投写します。

[入力検出]で切り替えると、映像信号が入力されていない入力端子には切り替わりませんので、目的の映像をすばやく投写できます。

1 **レンズカバーを開けて⏻を押します。**

2 **接続した機器の電源を入れ、ビデオ機器は[再生]や[プレイ]ボタンを押します。**

3 **[入力検出]を押すと、入力信号の自動検出を開始します。**

複数の機器を接続しているときは、目的の映像が投写されるまで[入力検出]を繰り返し押します。

本機に標準装備のDVDプレーヤーに戻すには
次のいずれかの操作で切り替わります。

- ▶を押す。
- ディスクスロットにディスクを挿入する。
- [入力検出]を押して「DVD/USB」を選択する。
- ⏏を押す。

ポイント

現在投写されている映像信号しか入力されていない場合や映像信号がまったく入力されていないときは、映像信号の状態を示す以下の画面が表示されます。この画面では投写したい機器を接続している入力端子を選択することが出来ます。何も操作しないと、約10秒で消えます。

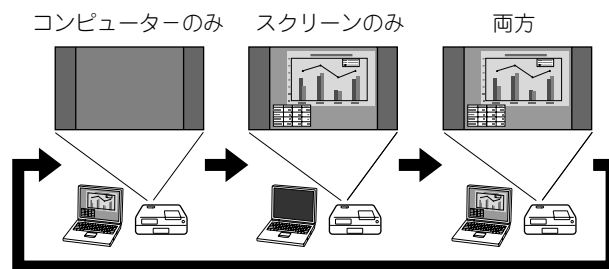
コンピューターの映像が投写されないときは

コンピューター側で映像信号の出力先を Fn を押したまま F□(□や⊟などの記載がキー上にある)を押して切り替えます。☞コンピューターの『取扱説明書』
切り替え後しばらくすると投写されます。

出力切り替えの一例			
エプソン	Fn + F8	東芝	Fn + F5
NEC	Fn + F3	IBM/lenovo	Fn + F7
松下		SONY	
SOTEC		DELL	Fn + F8
HP	Fn + F4	富士通	Fn + F10
Macintosh	ミラーリングの設定、またはディスプレーの検出を行う。 OS によっては、F7 で切り替えることができます。		

コンピューターによっては、次のように出力切り替えのキー操作を行うたびに表示状態が変わるものもあります。

コンピューターのみ　スクリーンのみ　両方

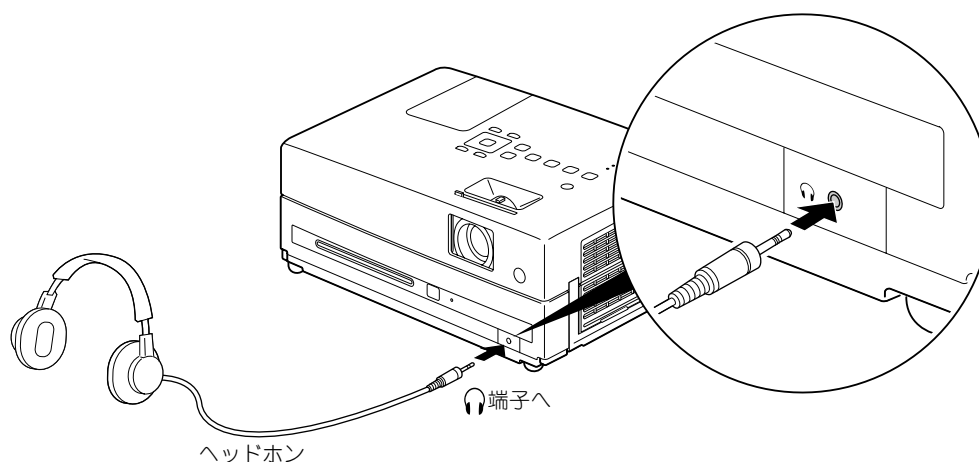
もっと使いこなそう

音声や音響の設定

ヘッドホンで聞く

⚠ 注意

- ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないでください。耳を刺激するような大音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- 初めから音量を上げすぎないでください。突然、大きな音が出て聴力障害の原因やヘッドホンを破損することがあります。本機の電源を切る前に音量（ボリューム）を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。

市販のヘッドホンを接続します。

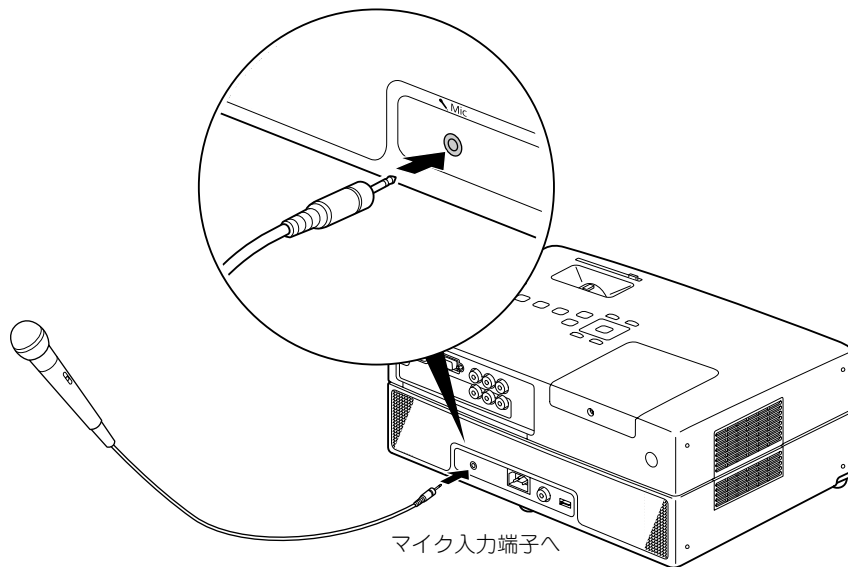
端子へ

ヘッドホン

ポイント

ヘッドホン端子にヘッドホンのケーブルを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。

マイクを接続する

本機のマイク入力端子にマイクを接続すると、本機のスピーカーからマイクの音声を出力できます。

マイクの音声は［音量 + / −］を押して調整します。

マイク入力端子へ

ポイント

- マイクに入力する音声が小さいときは［マイク入力レベル］で調整します。☞p.58
- 「マイク入力レベル」は、映像設定メニューのオプションページからも選択できます。☞p.53

注意

本機はダイナミックマイクに対応しています。プラグインパワー方式のマイクは使用できません。

同軸デジタル音声入力端子付きの音響機器を接続する

同軸デジタル音声入力端子のある、デジタル録音対応機器やAVアンプなどと接続できます。接続には、市販の同軸デジタルケーブルを使います。

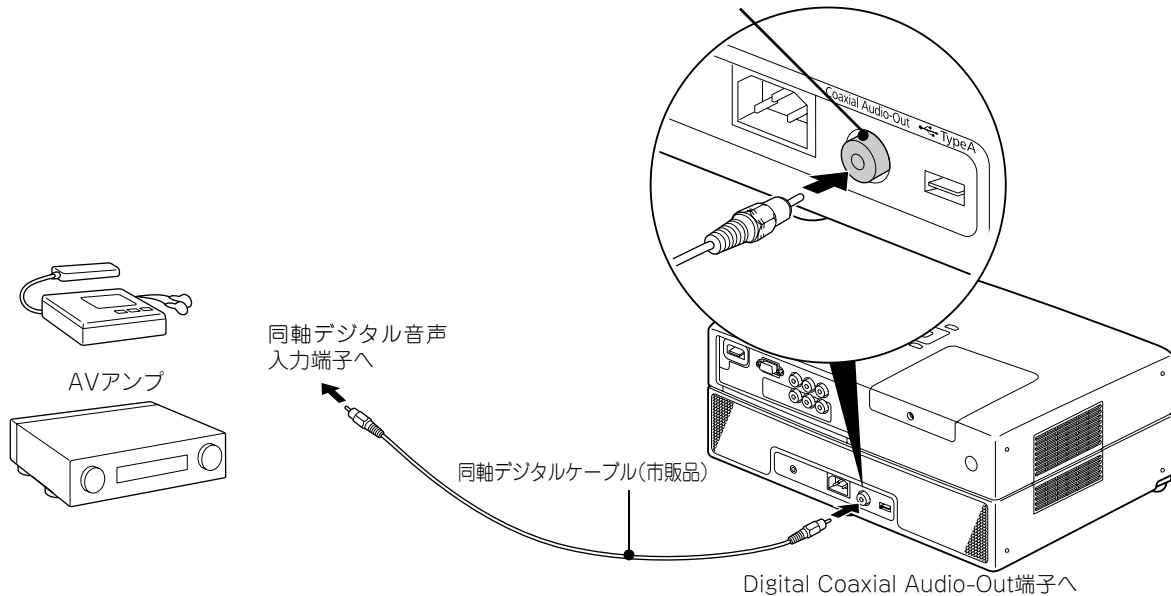
コネクターと端子の形状を合わせて奥までしっかり差し込みます。

AVアンプ

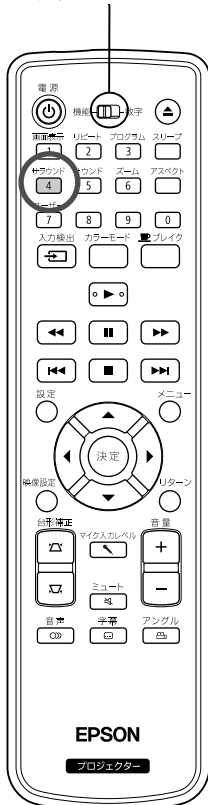
同軸デジタル音声入力端子へ

同軸デジタルケーブル(市販品)

Digital Coaxial Audio-Out端子へ

ポイント

Digital Coaxial Audio-Out端子から出力される信号は、設定メニューの「デジタル出力」での設定により変わります。出力される信号の詳細 p.50

サラウンドサウンドを選ぶ

操作を開始する前に[機能]側にセットします

バーチャルサラウンドモードにすると、マルチスピーカーから得られるような臨場感や立体感を楽しめます。

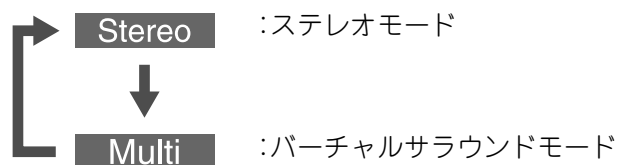
1 **サラウンド [4] を押します。**

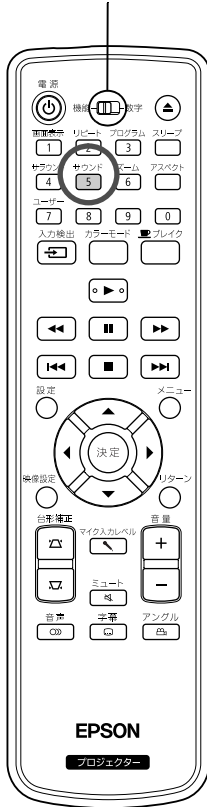
スクリーンに現在の設定が表示されます。

Stereo

2 **繰り返し サラウンド [4] を押して、希望する設定を選びます。**

Stereo :ステレオモード

Multi :バーチャルサラウンドモード

デジタル音響効果を選ぶ

操作を開始する前に[機能]側にセットします

再生しているディスクの音楽ジャンルに合わせて音響を最適にするために音響効果を選択できます。

1 **サウンド[5]を押します。**

スクリーンに現在の設定が表示されます。

Concert

2 **繰り返しサウンド[5]を押して、希望する設定を選びます。**

挿入しているディスクや入力ソースにより選択できる音響効果が次のように異なります。

DVDビデオ ビデオCD 外部ビデオ･PC	Concert → Drama → Action → Standard
他のディスク	Classic → Jazz → Rock → Digital

ポイント

フラットサウンド出力のときはConcertまたはClassicを選択してください。

設定と調整

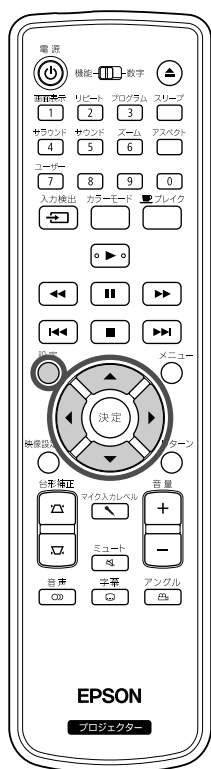
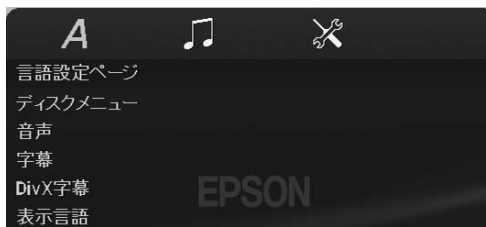
設定メニューの操作と機能

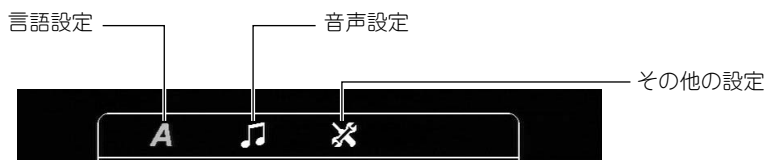
お使いの環境に合わせて本機の設定を変更できます。
各項目の初期設定値はエプソンのホームページでご確認いただけます。ホームページアドレスは裏表紙をご覧ください。

設定メニューの操作

1 再生中または停止中に（設定）を押します。

次の設定メニューが表示されます。

言語設定ページ
ディスクメニュー
音声
字幕
DivX字幕
表示言語

2 （▶）（◀）を押して目的のアイコンを選択します。

言語設定
音声設定
その他の設定

3 （▼）（▲）を押して、設定する項目を選び（▶）を押します。

設定内容が右側に表示されます。

言語設定ページ	
ディスクメニュー	英語
音声	中国語(簡体)
字幕	フランス語
DivX字幕	スペイン語
表示言語	ポルトガル語
	ポーランド語
	イタリア語
	トルコ語

4 **変更したい設定を選択し（決定）を押します。**

別の設定ページを表示させるには（◀）を何度か押して目的のアイコンを選択します。

5 **設定終了後は（設定）を押すと設定メニューが終了します。**

設定メニュー一覧

言語ページ

設定時はディスクを取り出してください。ディスクが挿入された状態では設定できません。

設定項目	設定内容
ディスクメニュー DVDビデオのメニューの言語を選びます。	"6978"などの言語コードは「言語コード一覧」をご覧ください。☞p.49 ディスク自体に設定が記録されているときは、その設定が有効となります。設定が記録されていないときは、本設定の内容が有効となります。選んだ言語がディスクに記録されていないときは、そのディスクで決められている言語になります。
音声 DVDビデオの音声の言語を選びます。	
字幕 DVDビデオの字幕の言語を選びます。	
DivX字幕 DivX字幕に対応するフォントタイプを選びます。	中央ヨーロッパ、キリル語、ギリシャ語、スタンダード、ヘブライ語 「スタンダード」は本機が持つローマ字字幕フォントの標準リストが表示されます。
表示言語 メニュー（設定、映像設定）をどの言語で表示するかを選びます。	英語 日本語

音声ページ

設定項目	設定内容
ナイトモード 小音量で再生したとき、大きな音と小さな音の聞こえ方の差を補正します。 ドルビーデジタルで記録したDVDビデオに対してだけ有効です。 映画などで音声レベルが低いときは「オン」に設定してください。	オン：大きな音の出力を弱く、小さな音の出力を上げます。 オフ：標準、あるいは強弱のはっきりした力強い音響をお楽しみいただくにはこちらを選択します。
デジタル出力 Digital Coaxial Audio-Out端子に接続する機器に合わせて出力信号の種類を選びます。 信号の詳細 ☞p.50	Stream：　DTS/ドルビーデジタルデコーダー、またはこれらの機能を持つ機器を接続したときに選択します。 PCM：　リニアPCMだけに対応している機器を接続したときに選択します。

設定と調整

その他ページ

設定項目	設定内容
スクリーンセーバー 再生を停止するなど静止画の状態で約15分操作がなかったとき、スクリーンセーバー機能を起動する/しないを選びます。	オン：スクリーンセーバー機能が起動します。 オフ：スクリーンセーバー機能を起動しません。
PBC ビデオCD 再生時にPBCを有効にするか解除するかを選びます。	オン：PBCを有効にして再生します。ビデオCD を再生するとメニュー画面が表示されます。 オフ：PBCを解除して再生します。最初のトラックから直接再生されます。
DivX® VODコード ビデオオンデマンドサービス使用時に必要な登録コードを提供します。	▶を押して表示された登録コードを確認してください。 確認後は決定を押します。 ここで確認した登録コードを使用してDivX®ビデオオンデマンドサービス(www.divx.com/vod)でビデオを購入したり借りたりできます。
初期設定 設定メニューの「ディスクロック」、「パスワード」と映像設定メニューの「ランプ点灯時間初期化」を除く全項目の設定を初期状態に戻します。	▶を押して決定を押すと初期化が実行されます。
パスワード 「ディスクロック」したディスクを再生する際に入力するパスワードを設定します。	「現在のパスワード」にリモコンの数字ボタンで6桁のパスワードを入力します。初めてパスワードの設定を行うときは「000000」と入力してください。 「新しいパスワード」に新しい6桁のパスワードを入力します。 「パスワード確認」にもう一度新しい6桁のパスワードを入力します。 決定を押すとパスワードが確定されます。 万一パスワードを忘れてしまったときは「現在のパスワード」で「000000」と入力します。
ディスクロック 特定のディスクに対してディスクロックを有効にすると再生時にパスワードの入力が必要になります。これによりディスクを再生できる人を制限・管理できます。 40ディスクまでロック設定できます。	オン：現在挿入されているディスクの再生をロックします。ここでロックしたディスクを再生するには「パスワード」で設定した6桁のパスワード入力が必要になります。 オフ：すべてのディスクが再生できるようになります。

DIVXビデオについて： DivX®は、DivX Inc.が開発したデジタルビデオフォーマットです。本機器はDivXビデオの再生デバイスとして公認された、DivX Certified 認証デバイスです。ファイルをDivXビデオに変換するための詳細情報およびソフトウェアツールについては、www.divx.comをご覧ください。
DIVXビデオオンデマンドについて：このDivX Certified®デバイスでDivXビデオオンデマンド(VOD)コンテンツを再生するには、登録手続きが必要となります。登録に必要なコードは、デバイスセットアップ・メニューのDivX VODセクションをご覧ください。手続き方法はvod.divx.comでご確認ください。

言語コード一覧

Abkhazian	6566
Afar	6565
Afrikaans	6570
Amharic	6577
Arabic	6582
Armenian	7289
Assamese	6583
Avestan	6569
Aymara	6589
Azerhaijani	6590
Bahasa Melayu	7783
Bashkir	6665
Belarusian	6669
Bengali	6678
Bihari	6672
Bislama	6673
Bokmål, Norwegian	7866
Bosanski	6683
Brezhoneg	6682
Bulgarian	6671
Burmese	7789
Castellano, Enpañol	6983
Catalán	6765
Chamorro	6772
Chechen	6769
Chewa; Chichewa; Nyanja	7889
中文	9072
Chuang; Zhuang	9065
Church Slavic; Slavonic	6785
Chuvash	6786
Corsican	6779
Česky	6783
Dansk	6865
Deutsch	6869
Dzongkha	6890
English	6978
Esperanto	6979
Estonian	6984
Euskara	6985
Ελληνικά	6976
Faroese	7079
Français	7082
Frysk	7089
Fijian	7074

Gaelic; Scottish Gaelic	7168
Gallegan	7176
Georgian	7565
Gikuyu; Kikuyu	7573
Guarani	7178
Gujarati	7185
Hausa	7265
Herero	7290
Hindi	7273
Hiri Motu	7279
Hrwatski	6779
Ido	7379
Interlingua (International)	7365
Interlingue	7365
Inuktitut	7385
Inupiaq	7375
Irish	7165
Íslenska	7383
Italiano	7384
Ivrit	7269
Japanese	7465
Javanese	7486
Kalaallisut	7576
Kannada	7578
Kashmiri	7583
Kazakh	7575
Kernewek	7587
Khmer	7577
Kinyarwanda	8287
Kirghiz	7589
Komi	7586
Korean	7579
Kuanyama; Kwanyama	7574
Kurdish	7585
Lao	7679
Latina	7665
Latvian	7686
Letzeburgesch;	7666
limburgan; limburger	7673
Lingala	7678
Lithuanian	7684
Luxembourgish;	7666
Macedonian	7775
Malagasy	7771

Magyar	7285
Malayalam	7776
Maltese	7784
Manx	7186
Maori	7773
Marathi	7782
Marshallese	7772
Moldavian	7779
Mongolian	7778
Nauru	7865
Navaho; Navajo	7886
Ndebele, North	7868
Ndebele, South	7882
Ndonga	7871
Nederlands	7876
Nepali	7869
Norsk	7879
Northern Sami	8369
North Ndebele	7868
Norwegian Nynorsk;	7878
Occitan; Provencal	7967
Old Bulgarian; Old Slavonic	6785
Oriya	7982
Oromo	7977
Ossetian; Ossetic	7983
Pali	8073
Panjabi	8065
Persian	7065
Polski	8076
Português	8084
Pushto	8083
Russian	8285
Quechua	8185
Raeto-Romance	8277
Romanian	8279
Rundi	8278
Samoan	8377
Sango	8371
Sanskrit	8365
Sardinian	8367
Serbian	8382
Shona	8378
Shqip	8381
Sindhi	8368

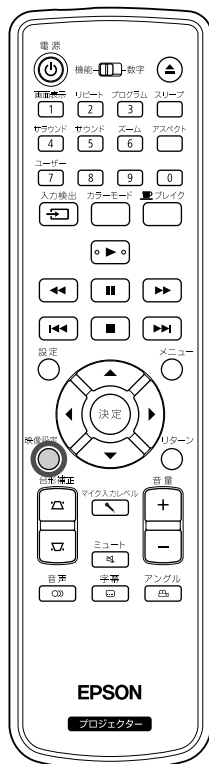
Sinhalese	8373
Slovensky	8373
Slovenian	8376
Somali	8379
Sotho; Southern	8384
South Ndebele	7882
Sundanese	8385
Suomi	7073
Swahili	8387
Swati	8383
Svenska	8386
Tagalog	8476
Tahitian	8489
Tajik	8471
Tamil	8465
Tatar	8484
Telugu	8469
Thai	8472
Tibetan	6679
Tigrinya	8473
Tonga (Tonga Island)	8479
Tsonga	8483
Tswana	8478
Türkçe	8482
Turkmen	8475
Twi	8487
Uighur	8571
Ukurainian	8575
Urdu	8582
Uzbek	8590
Vietnamese	8673
Volapuk	8679
Walloon	8765
Welsh	6789
Wolof	8779
Xhosa	8872
Yiddish	8973
Yoruba	8979
Zulu	9085

「デジタル出力」の設定と出力信号の関係

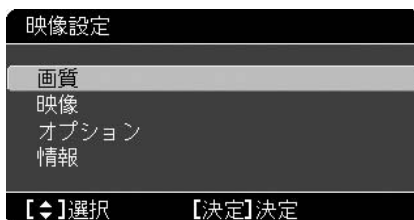
再生ディスク	「デジタル出力」設定	
	ストリーム	PCM
リニアPCMのDVDビデオ	ステレオのリニアPCM	
DTSのDVDビデオ	DTSビットストリーム	48kHz、16ビットのリニアPCM
ドルビーデジタルのDVDビデオ	ドルビーデジタルビットストリーム	48kHz、16ビットステレオのリニアPCM
音楽CD・ビデオCD・SVCD	44.1kHz、16ビットステレオのリニアPCM/48kHz、16ビットのリニアPCM	
DTSの音楽CD	DTSビットストリーム	44.1kHz、16ビットのリニアPCM
MP3/WMAのディスク	32/44.1/48kHz、16ビットのリニアPCM	

映像設定メニューの操作と機能

投写画面の明るさやコントラストなどの調整が行えます。

映像設定メニューの操作

1 **投写している状態で（映像設定）を押します。**

次のメニューが表示されます。

映像設定
画質
映像
オプション
情報
[◆]選択　[決定]決定

2 **（▼）（▲）を押して、設定する項目を選び（決定）を押します。**

画質
明るさ　0
[◆]項目　[映像設定]終了

3 **（▼）（▲）を押して、設定する項目を選び（▶）（◀）を押して調整します。**

- 選択肢が表示され、いずれかを選択する場合は項目を選択後（決定）を押して選択を確定してください。

4 **設定終了後は（映像設定）を押すと、メニューが終了します。**

映像設定メニュー一覧

画質ページ

カラーモードが「オート」のときは設定できません。☞p.22

設定項目	設定内容
明るさ	映像の明るさを調整します。
コントラスト	映像の明暗の差を調整します。
色の濃さ	映像の色の濃さを調整します。(コンピューター接続時は表示されません。)
色合い	映像の色合いを調整します。(NTSC系以外の外部ビデオ機器やコンピューター接続時は表示されません。)
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。
色温度	映像全体の色合いを「高」「中」「低」と調整します。 高:青みを帯びた映像になります。 低:赤みを帯びた映像になります。
オートアイリス	映像の明るさに合わせて光量を自動的に調整します。 オン:オートアイリスを有効にします。 オフ:オートアイリスを無効にします。

映像ページ

設定項目	設定内容
台形補正	台形にゆがんだ画面を垂直方向に補正します。☞p.18
自動台形補正	オン:自動で台形補正を行います。 オフ:自動台形補正を無効にします。
ズーム	映像のサイズを調整します。 ワイド:大きくなります。 テレ:小さくなります。
明るさ切替 カラーモードが「オート」のときは設定できません。☞p.22	ランプの明るさを「エコ」と「ノーマル」の2 段階で切り替えることができます。 暗い部屋で投写したり小さなスクリーンに映す場合に、投写映像が明るすぎるときは「エコ」に設定します。「エコ」で使用すると、投写中の消費電力、ランプ寿命が次のように変わり、ファン回転音も低下します。消費電力:約16%減、ランプ寿命:約1.2 倍
入力解像度	オート:コンピューター入力信号の解像度を自動で判別します。 「オート」に設定していて投写映像が欠けるときは、接続しているコンピューターに合わせてワイド画面は「ワイド」に、「4:3」や「5:4」画面は「ノーマル」に設定してください。
ビデオ信号方式 Video入力端子に接続しているビデオ機器の信号方式を設定します。	入力ソースが「Video」のときに限り表示されます。 お買い上げ時は「オート」に設定されており、自動的にビデオ信号を認識します。「オート」になっていても映像にノイズが入ったり、映像が映らないなどのトラブルが起きるときは、適切な信号を選択してください。
天井投写モード	オン:同梱品の天井投写キットを利用して、映像を天井に投写することができます。 オフ:天井投写モードを解除します。

オプションページ

設定項目	設定内容
マイク入力レベル	マイクの入力レベルが低く、本機スピーカーから出力されるマイクの音声が小さくて聞き取りにくいときや、逆に入力レベルが大きくてマイクからの音声が割れてしまうときなどに調整します。マイク入力レベルを「0」にするとマイクの音声はスピーカーから出力されません。
ユーザーボタン	リモコンの ユーザー 7 に割り当てる映像設定メニューの項目を選択します。ユーザー 7 を押すと割り当てたメニュー項目の選択/ 調整画面が直接表示されるのでワンタッチで設定/ 調整の変更が行えます。 ユーザー 7 に割り当てることのできるのは以下の項目です。 明るさ切替、情報、ズーム、入力解像度、天井投写モード
チャイルドロック 本体の ⏻ での電源オンをロックする/しないを選びます。	オン：チャイルドロックを有効にします。本機の電源を入れるには、本体の ⏻ を約5秒押し続けるか、リモコンの ⏻ で行います。 オフ：チャイルドロックを無効にします。
高地モード お使いの地域の標高により設定します。	本機を標高1500m以上の地域でお使いになるときは「オン」を選択してください。
型番表示モード	オン：本機の型番を表示します。 オフ：型番表示を解除します。

情報ページ

項目	内容
情報表示 現在の状態を表示します。	ランプ点灯時間：ランプの累積使用時間です。0〜10時間までは0Hと表示されます。10時間以上は1時間単位で表示されます。ランプ交換時期になると、文字が黄色に変わります。 入力ソース：標準装備のDVDプレーヤーの映像を投写しているのか、外部ビデオ機器やコンピューターの映像を投写しているのかを表示しています。 ビデオ信号方式：「入力ソース」が「Video」のときに表示される項目で、入力しているビデオ信号の方式を表示しています。 入力解像度：「入力ソース」が「Video」以外のときに表示される項目で、入力しているコンピューター映像信号の解像度やコンポーネントビデオの信号を表示しています。 ステータス：本機に発生した異状についての情報です。お問い合わせ時にこの値を確認することがあります。
ランプ点灯時間初期化	ランプ交換後は、必ず初期化を行います。ランプ点灯時間の累積がクリアされます。

セキュリティー機能

盗難防止用ロック

本機には機器そのものを持ち出されないように次の機構があります。

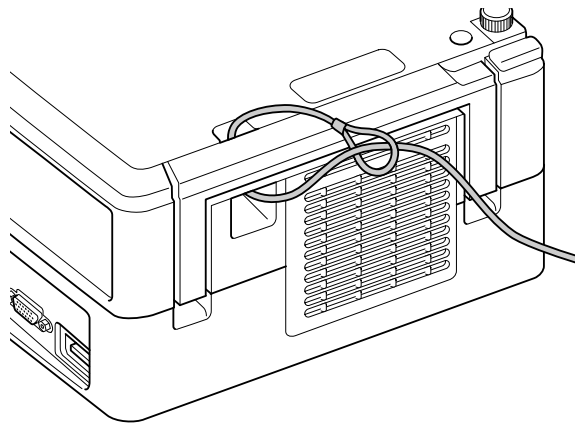
- セキュリティースロット
  Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティーシステムに対応したセキュリティースロットです。マイクロセーバーセキュリティーシステムの詳細は、Kensington のホームページhttp://www.kensington.com/でご確認ください。
- セキュリティーケーブル取付け部
  市販の盗難防止用ワイヤーロックなどを通して、机や柱などに固定できます。

ワイヤーロックの取り付け方

盗難防止用ワイヤーロックのワイヤーをハンドルに通します。
ワイヤーロックの施錠方法は、ワイヤーロックに添付の『取扱説明書』をご覧ください。

付 録

困ったときに

インジケーターの見方

天面のインジケーターで本機の状態を確認できます。
下表でそれぞれの状態を確認し、手順に従って対処してください。
※インジケーターがすべて消えているときは、電源ケーブルが正しく接続されていないか、電気が供給されていません。

☼や🌡インジケーターがオレンジの点滅時 警告

●:点灯 ☼:点滅 ○:消灯

インジケーター	内容
赤 (点滅) / オレンジ ○ ☼ / ☼ 🌡	**高温警告** このまま投写を続けられます。さらに高温になると投写を自動的に停止します。 次の2点を確認します。 • 壁からは 20cm 以上離してください。 • エアフィルターを掃除してください。 p.60 ▶ (電源)を押して電源を入れても、改善されないときはご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いてください。お買い上げの販売店、またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。 p.72
緑 (点灯) / オレンジ ☼ ☼ / ○ 🌡	**ランプ交換勧告** ランプの交換時期です。すみやかに新しいランプと交換してください。 このまま使い続けるとランプが破裂するおそれがあります。p.62

付録

⏻が赤色点灯時 異常

⏻ ●：点灯 ☼：点滅 ○：消灯

内部異常
約1分30秒間そのままの状態で待ち、電源プラグをコンセントから抜いて差し直します。
⏻を押して電源を入れても、インジケーターの状態が変わらないときは

ファン異常/センサー異常

異常状態が直らないとき
約1分30秒間そのままの状態で待ち、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店、またはエプソンの各修理センターに修理を依頼してください。
p.72

高温異常（オーバーヒート）
ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。約5分間そのままの状態で待ち、電源インジケーターがオレンジ点灯になったら右記の3点を確認します。

- 壁からは20cm以上離してください。
- エアフィルターを掃除してください。p.60
- 標高1500m以上の地域でお使いのときは「高地モード」を「オン」にしてください。p.53

⏻を押して電源を入れても、インジケーターの状態が変わらないとき

ランプ異常/ランプ点灯失敗/ランプ切れ
約1分30秒間そのままの状態で待ち、ランプが割れていないか確認します。p.62
エアフィルターと吸気口の掃除をします。p.60

ランプは割れていない	ランプを再セットし、本機の電源を入れます。	ランプを再セットしても直らないとき
ランプが割れている	お買い上げの販売店、またはエプソンの各修理センターにご相談ください。p.72	

標高1500m以上の地域でお使いのときは「高地モード」を「オン」にしてください。p.53

オートアイリス異常
電源系異常（バラスト）

と インジケーター消灯時 正常

:点灯 :点滅 :消灯

オレンジ	**スタンバイ状態**	操作が開始できる状態になったことを示しています。
緑	**ウォームアップ中（約30秒）**	ウォームアップ中は を押しても無効になります。 ウォームアップ中は電源ケーブルを抜かないでください。ランプの早期劣化の原因となります。
緑	**投写中**	
オレンジ	**クールダウン中**	クールダウン中はリモコンと本体ボタンの操作はすべて無効になります。 クールダウンが終了すると、スタンバイ状態になります。 クールダウン中は電源ケーブルを抜かないでください。ランプの早期劣化の原因となります。
緑	**ブレイク中**	ブレイク を押すと、通常の再生に戻ります。
オレンジ 2回点滅	**チャイルドロック**	チャイルドロックがかかっています。p.53

付録

インジケーターを見てもわからないとき

本機が正常に動作しないときは、修理に出す前に下記をご覧になり点検をしてください。それでも直らないときは、お買い上げの販売店、またはプロジェクターインフォメーションセンター、修理センターにお問い合わせください。

こんな時は	ここをご確認ください	参照ページ
電源が入らない	• ⏻を押しましたか？	☞p.15
	• 電源ケーブルを抜いて、接続し直します。	☞p.15
	• クールダウン中ではありませんか？	☞p.57
	• 電源ケーブルを触ると、インジケーターがついたり消えたりするときは、電源を切り電源ケーブルを抜いてから接続し直します。それでも直らないときは、電源ケーブルが故障している可能性があります。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンの各修理センターにご相談ください。	☞p.72
	• チャイルドロックの設定になっていませんか?	☞p.53
映像が表示されない	• レンズカバーが閉まっていませんか？	☞p.15
	• DVDビデオのリージョン番号は適切ですか？	☞p.7
	• DVDに切り替えるには▶を押します。	☞p.40
	• ランプが切れていませんか？	☞p.55
ぼやける、ピントが合わない	• ピント調整をしましたか？	☞p.17
	• 投写距離は最適ですか？	☞p.64
	• 結露していませんか？	☞p.5
暗い	• 使用環境に応じたカラーモードになっていますか？	☞p.22
	• ランプの交換時期ではありませんか？	☞p.61
	• スクリーンセーバーが働いていませんか？	☞p.48
リモコンで操作できない	• 機能/数字切替スイッチが[数字](数字入力)側になっていませんか？	☞p.23
	• ディスクによっては、特定の操作が禁止されていることがあります。	-
	• 乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか？	☞p.13
音が出ない・小さい	• 音量調節が最小になっていませんか？	☞p.17
	• マイク入力レベルが最大になっていませんか？	☞p.53
	• 消音になっていませんか？ミュートを押します。	-
	• レンズカバーが閉まっていませんか？	☞p.15
音がひずむ	音量を上げすぎていませんか？	☞p.17
マイクの音が出ない	• マイクは正しく接続されていますか？ マイク入力端子からケーブルを抜いて差し直してください。	☞p.43
	• マイク入力レベルが最小になっていませんか？	☞p.53
	• 本機はダイナミックマイクに対応しています。 プラグインパワー方式のマイクは使用できません。	-
音声/字幕言語の切り替えができない	• ディスクに複数の言語が収録されていないと切り替えはできません。	-
	• ディスクによってはDVDのメニューでのみ切り替えるタイプがあります。	-
字幕が出ない	• ディスクに字幕が入っていないと表示されません。	-
	• 字幕言語が「オフ」になっていませんか？	☞p.31

外部ビデオ･PCモードで使っているとき

こんな時は	ここをご確認ください	参照ページ
映像が表示されない	• 接続している機器の電源は入っていますか？ 接続機器の電源を入れ、機器によっては再生ボタンを押します。	☞p.40
「この信号は表示できません。」と表示される	• 外部ビデオ機器接続時 映像設定メニューの「ビデオ信号方式」を「オート」に設定しても投写できないときは機器に応じた信号方式に設定します。	☞p.52
	• コンピューター接続時 映像信号の解像度やリフレッシュレートが本機で対応できるモードですか？ コンピューターから出力されている映像信号の解像度･リフレッシュレートの変更は、コンピューターの取扱説明書などでご確認ください。	☞p.65
「映像信号が入力されていません。」と表示される	• ケーブル類は正しく接続されていますか？	☞p.37, 39
	• 接続している機器の電源は入っていますか？ 接続機器の電源を入れます。ビデオ機器の場合は機器によっては再生ボタンを押します。	☞p.40
	• ノートタイプや液晶一体型のコンピューターを接続していますか？ コンピューターで映像信号の出力先を切り替えます。	☞p.41
	• DVDに切り替えるには[▶]を押します。	☞p.40
ノイズが入る	• 接続ケーブルを延長しているとノイズが入ることがあります。増幅機器などを接続して確認してください。	-
	• コンピューター映像信号の解像度が本機で対応できるモードですか？ コンピューターから出力されている映像信号の解像度の変更は、コンピューターの取扱説明書などでご確認ください。	☞p.65
	• コンピューター映像を投写していてノイズやちらつきがあるときはリモコンの(決定)を押します。「自動調整中」と表示され同期･トラッキング･表示位置が自動調整されます。	-
画像が切れる(大きい)、小さい	• 本機は、入力信号に合ったアスペクトを自動で認識して投写します。アスペクトが正しく投写されないときは、[アスペクト]を押して入力信号に合ったアスペクトを選択します。	☞p.34
	• コンピューターの映像を投写していて映像の一部が欠けるときはリモコンの(決定)を押します。「自動調整中」と表示され同期･トラッキング･表示位置が自動調整されます。	-
色合いが違う	映像設定メニューの「ビデオ信号方式」を機器に応じた信号方式に設定します。	☞p.52
コンピューターで再生している動画が黒くなる	コンピューター映像信号を外部のみの出力に切り替えます。 ☞コンピューターに添付の『取扱説明書』、あるいはお使いのコンピューターのメーカーにお問い合わせください。	-

付録

お手入れの方法

お手入れの方法や消耗品の交換などのメンテナンスについて説明します。

⚠注意

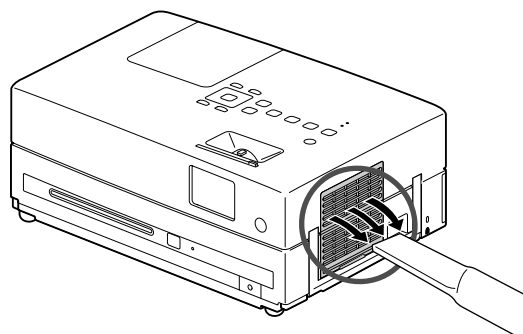
お手入れの際には、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

各部の掃除

エアフィルター･吸気口の掃除

エアフィルターや吸気口にホコリがたまっていたり、「内部温度が上昇しています。吸排気口付近の障害物を取り除き、エアフィルターの掃除、または交換を行ってください。」とメッセージが表示されたときは、エアフィルターと吸気口のホコリを掃除機で吸い取ります。

注意

- エアフィルターや吸気口にホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。約3ヶ月に1度はエアフィルターと吸気口の掃除を行うことをお勧めします。ホコリの多い環境でお使いのときは、より短い周期で掃除を行ってください。
- エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。

本体の掃除

本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

投写レンズの掃除

レンズの汚れは、市販のメガネ拭きなどで軽くふき取ってください。

注意

レンズの表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

消耗品の交換時期

エアフィルターの交換時期

エアフィルターが汚れたり、壊れたとき

ランプの交換時期

- 投写開始時に、「投写ランプを交換してください。」とメッセージが表示されたとき
- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき

ポイント

- 初期の明るさや画質を維持するため、ランプの使用時間が最短で約3900時間を経過すると、ランプ交換メッセージが表示されます。メッセージの表示時間はカラーモード設定などお使いの状況により変わります。
- 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 電源オフ直後に電源をオンにする操作を繰り返さないでください。頻繁に電源オフ/オンを繰り返すと、ランプ寿命が短くなるおそれがあります。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものもあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお勧めします。

オプション品・消耗品一覧

下記のオプション品・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション品類は2010年7月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

消耗品

交換用ランプ　ELPLP56 （ランプ1個） 使用済みランプと交換します。	エアフィルター　ELPAF26 （エアフィルター1枚） 使用済みのエアフィルターと交換します。

オプション品

80型スプリングローラー式スクリーン　ELPSC15 スクリーンスタンド　ELPSCST01 巻き上げ式のスクリーンと専用スタンドです。 アスペクト比16:9

付録

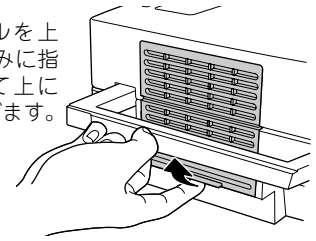
消耗品の交換方法

エアフィルターの交換方法

ポイント
使用済みのエアフィルターは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。
フィルター材質:
ポリプロピレン
枠部分材質:
ABS樹脂

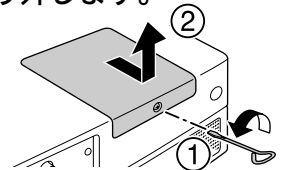
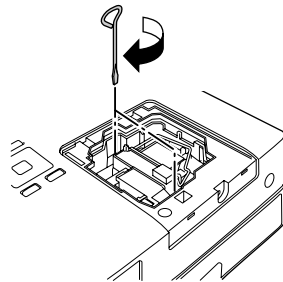
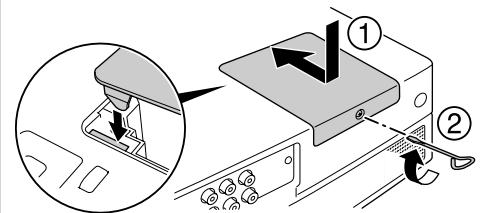
1 電源を切り「ピッピッ」と鳴ったら電源ケーブルを外します。

2 エアフィルターカバーを外します。

ハンドルを上げ、つまみに指をかけて上に引き上げます。

ランプの交換方法

⚠注意
使用直後はランプが熱くなっています。電源を切ってから約1時間たち、ランプが十分冷えてから交換の作業をしてください。

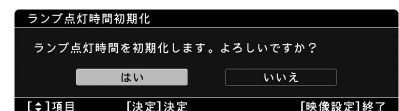
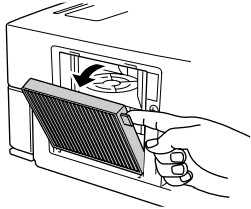
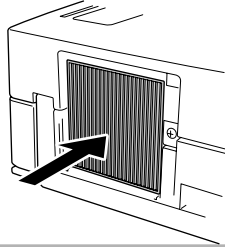
1 電源を切り「ピッピッ」と鳴ったら電源ケーブルを外します。

2 ランプカバーの固定ネジを交換用ランプに同梱のドライバでゆるめます。ランプカバーを手前にスライドさせ、持ち上げて取り外します。

6 ランプ固定ネジをしっかり締めます。

7 ランプカバーを取り付けます。

ランプ点灯時間の初期化

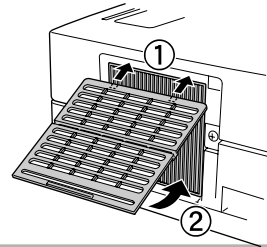
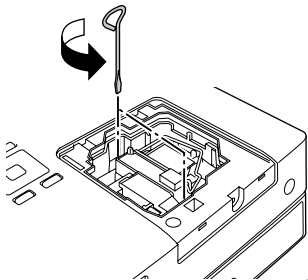
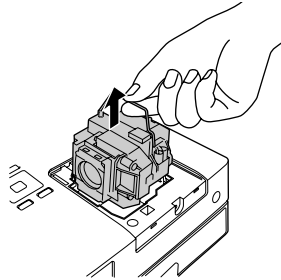
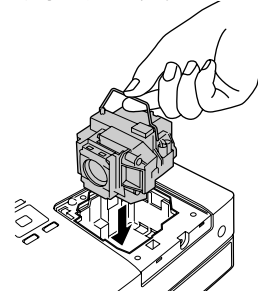
ランプ交換をした後は、必ずランプ点灯時間の初期化をしてください。
本機にはランプ点灯時間のカウンターが内蔵されており、このカウンターを元にランプ交換のメッセージを表示します。

1 電源ケーブルを接続し、⏻を押します。

2 映像設定 ◯を押して表示されたメニューで「情報」→「ランプ点灯時間の初期化」を選択します。

ランプ点灯時間初期化
ランプ点灯時間を初期化します。よろしいですか？
はい　いいえ
【⇕】項目　【決定】決定　【映像設定】終了

3 古いエアフィルターを取り外します。

4 新しいエアフィルターを取り付けます。

5 エアフィルターカバーを取り付けます。

①

②

3 ランプ固定ネジをゆるめます。

4 古いランプを取り出します。

5 新しいランプを取り付けます。

注意

- ランプやランプカバーは確実に取り付けてください。本機は安全のため取り付けが不十分だと電源がオフになります。
- ランプには水銀が含まれています。使用済みのランプは、地域の蛍光管の破棄ルールに従って廃棄してください。

3 「はい」を選択して (決定) を押すと、初期化されます。

ランプ点灯時間初期化

ランプ点灯時間を初期化します。よろしいですか？

はい　いいえ

[◆]項目　[決定]決定　[映像設定]終了

投写距離とスクリーンサイズ

下表を参考にして、スクリーンに映像が最適な大きさで映るように設置してください。値は目安です。

単位:cm

16:9　スクリーンサイズ		投写距離Ⓐ 最短（ズーム調整ワイド）～最長（ズーム調整テレ）	Ⓑ 最短（ズーム調整ワイド）～最長（ズーム調整テレ）
30型	66×37	89～121	0～6
40型	89×50	119～162	-1～8
60型	130×75	180～244	-1～12
80型	180×100	241～326	-1～16
100型	220×120	302～408	-2～20
120型	270×150	363～491	-2～23
150型	330×190	454～614	-2～29
200型	440×250	606～820	-3～39

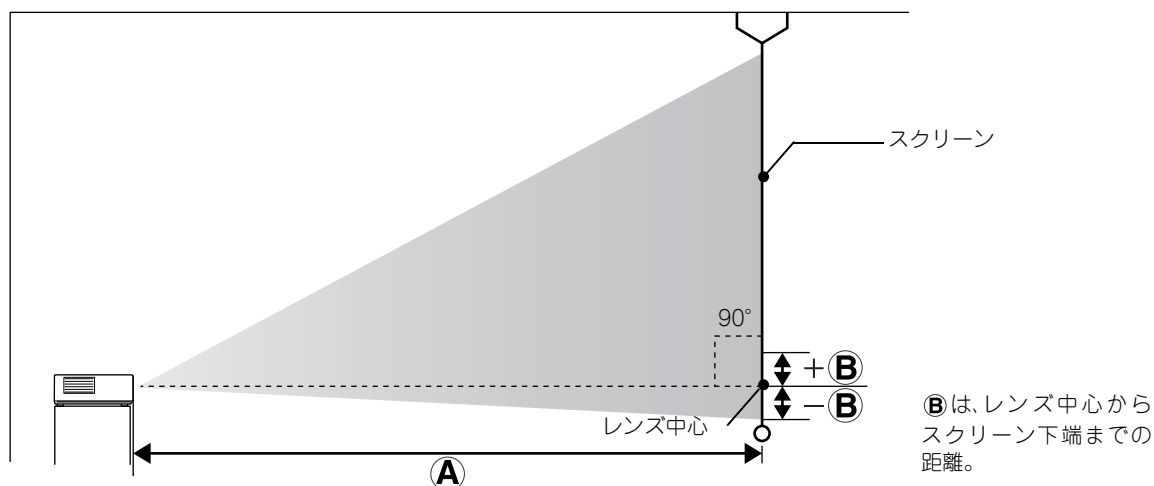
単位:cm

4:3　スクリーンサイズ		投写距離Ⓐ 最短（ズーム調整ワイド）～最長（ズーム調整テレ）	Ⓑ 最短（ズーム調整ワイド）～最長（ズーム調整テレ）
30型	61×46	109～148	-1～7
40型	81×61	146～198	-1～10
60型	120×90	221～299	-1～14
80型	160×120	295～400	-2～19
100型	200×150	370～500	-2～24
120型	240×180	445～601	-2～29
150型	300×230	556～752	-3～36

単位:cm

16:10　スクリーンサイズ		投写距離Ⓐ 最短（ズーム調整ワイド）～最長（ズーム調整テレ）	Ⓑ 最短（ズーム調整ワイド）～最長（ズーム調整テレ）
30型	65×40	96～131	-1～6
40型	86×54	129～175	-1～8
60型	130×81	195～264	-1～13
80型	170×110	261～353	-1～17
100型	220×130	326～442	-2～21
120型	260×160	392～531	-2～25
150型	320×200	491～664	-3～32
200型	430×270	656～886	-4～42

スクリーン
90°
＋Ⓑ
－Ⓑ
レンズ中心
Ⓐ

Ⓑは、レンズ中心からスクリーン下端までの距離。

対応解像度一覧

コンポジットビデオ

単位：ドット

信号	解像度	アスペクトモード		
		ノーマル	フル	ズーム
TV(NTSC)	720×480	720×540 (4:3)	960×540 (16:9)	960×540 (16:9)
TV(PAL, SECAM)	720×576	720×540 (4:3)	960×540 (16:9)	960×540 (16:9)

コンポーネントビデオ

単位：ドット

信号	解像度	アスペクトモード		
		ノーマル	フル	ズーム
SDTV(480i, 60Hz)	720×480	720×540 (4:3)	960×540 (16:9)	960×540 (16:9)
SDTV(576i, 50Hz)	720×576	720×540 (4:3)	960×540 (16:9)	960×540 (16:9)
SDTV(480p)	720×480	720×540 (4:3)	960×540 (16:9)	960×540 (16:9)
SDTV(576p)	720×576	720×540 (4:3)	960×540 (16:9)	960×540 (16:9)
HDTV(720p)16:9	1280×720	960×540 (16:9)	-	-
HDTV(1080i)16:9	1920×1080	960×540 (16:9)	-	-

HDMI

単位：ドット

信号	解像度	アスペクトモード		
		ノーマル	フル	ズーム
VGA60	640×480	720×540	960×540	960×540
SDTV(480i, 60Hz)	720×480	720×540	960×540	960×540
SDTV(576i, 50Hz)	720×576	720×540	960×540	960×540
SDTV(480p)	720×480	720×540	960×540	960×540
SDTV(576p)	720×576	720×540	960×540	960×540
SVGA60	800×600	720×540	960×540	960×540
XGA60	1024×768	720×540	960×540	960×540
HDTV(720p)	1280×720	960×540	-	-
WXGA60	1280×800	864×540	960×540	960×540
SXGA2_60	1280×960	720×540	960×540	960×540
SXGA3_60	1280×1024	675×540	960×540	960×540
HDTV(1080i)	1920×1080	960×540	-	-
HDTV(1080p, 50Hz)	1920×1080	960×540	-	-
HDTV(1080i, 60Hz)	1920×1080	960×540	-	-

コンピューター映像

単位:ドット

信号	解像度	アスペクトモード		
		ノーマル	フル	ズーム
VGA60/72/75/85, iMac※	640×480	720×540	960×540	960×540
SVGA56/60/72/75/85, iMac※	800×600	720×540	960×540	960×540
XGA60/70/75/85, iMac※	1024×768	720×540	960×540	960×540
SXGA1_70/75	1152×864	720×540	960×540	960×540
WXGA60/75/85	1280×800	864×540	960×540	960×540
WXGA60-1	1280×768	900×540	960×540	960×540
WXGA60-2	1360×768	956×540	960×540	960×540
SXGA2_60	1280×960	720×540	960×540	960×540
SXGA3_60/75/85	1280×1024	675×540	960×540	960×540
MAC13"	640×480	720×540	960×540	960×540
MAC16"	832×624	720×540	960×540	960×540
MAC19"	1024×768	720×540	960×540	960×540
MAC21"	1152×870	715×540	960×540	960×540

※ VGA出力ポートが装着されていない機種には接続できません。

上記以外の信号でも、映像を投写できることがあります。ただし、機能が制限されることがあります。

小さい文字等については見えにくいことがあります。

対応MPEGフォーマット一覧

拡張子	ビデオコーデック	オーディオコーデック	解像度
.AVI	MPEG-1/MPEG-2/ MPEG-4(Advanced Simple Profile)	PCM/ADPCM/MPEG/ MP3/WMA/AC3/DTS	PAL: 25Hz　720×576以下 NTSC:30Hz　720×480以下
.VID/.DIV/ .DIVX(Home Theater)/.XVID	MPEG-4(Advanced Simple Profile)	PCM/ADPCM/MPEG/ MP3/WMA/AC3/DTS	PAL: 25Hz　720×576以下 NTSC:30Hz　720×480以下
.MPE/ .MPG/ .MPEG	MPEG-1/ MPEG-2	PCM/ADPCM/LPCM/ MPEG/MP3/WMA/ AC3/DTS	PAL: 25Hz　720×576以下 NTSC:30Hz　720×480以下
.DAT	MPEG-1	MPEG I or II /layer II	PAL: 25Hz　352×288/704×576 NTSC: 30Hz　352×240/704×480
.VOB	MPEG-2	PCM/ADPCM/LPCM/ MPEG/MP3/WMA/ AC3/DTS	PAL: 25Hz　720×576 NTSC:30Hz　720×480

ファイルフォーマットは以下の条件を満たしている必要があります。

- 解像度:720×576まで
- GMC(global motion compensation)ポイント:1つまで
- ビットレート: CD: 5.6Mbps
  DVD: 19Mbps
  USB: 5.57Mbps(ただし、USBストレージの性能により遅くなることがあります。)

付録

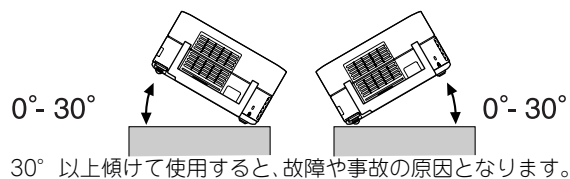
仕様一覧

商品名		EH-DM3			
外形寸法		335(幅)×136(高さ)×239(奥行き)mm(突起部を含む)			
パネルサイズ		0.54型ワイド			
表示方式		ポリシリコンTFTアクティブマトリクス			
画素数		518,400個(横960×縦540ドット)×3			
フォーカス調整		手動式			
ズーム調整		電子式(約1:1.35)			
ランプ(光源)		UHEランプ　定格200W　型番ELPLP56			
電源		100-240V　AC±10%　50/60Hz　3.5-1.5A			
消費電力	100-120Vエリア	定格消費電力:310W　　待機時消費電力:0.3W			
	200-240Vエリア	定格消費電力:292W　　待機時消費電力:0.4W			
動作高度		標高　0m～2286m			
使用温度範囲		＋5℃～＋35℃(結露しないこと)			
保存温度範囲		－10℃～＋60℃(結露しないこと)			
質量		約4.2Kg			
接続端子		入力	Audio端子	1系統	RCAピンジャック
			Video端子	1系統	RCAピンジャック
			Component端子	1系統	RCAピンジャック
			PC端子	1系統	ミニD-Sub 15pin
			HDMI端子	1系統	HDMI
			マイク入力端子	1系統	モノラルミニピンジャック
			USB端子	1系統	TypeA
		出力	Digital Coaxial Audio-Out端子	1系統	RCAピンジャック
			ヘッドホン端子	1系統	3.5mmミニジャック
スピーカー		最大入力10W　定格インピーダンス8Ω			
オーディオ出力		アナログ音声出力	スピーカー1系統:実用最大出力10W+10W(10%THD)		
			ヘッドホン1系統 :25mW/32Ω		
			ダイナミックレンジ　70dB以上		
		デジタル音声出力	同軸デジタル出力		

※USB端子は、USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。

傾斜角度

0°- 30°　0°- 30°

30°以上傾けて使用すると、故障や事故の原因となります。

用語解説

HDMI
High Definition Multimedia Interfaceの略で、HD映像と、マルチチャンネルオーディオ信号をデジタル伝送する規格のことをいいます。
HDMIはデジタル家電やコンピューターをターゲットにした規格であり、デジタル信号を圧縮せず高品質のまま転送でき、デジタル信号の暗号化機能もあります。

HDTV
High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。
・垂直解像度720p、1080i以上（pはプログレッシブ走査、iはインターレース走査）
・画面のアスペクトは16:9

JPEG
画像ファイルを保存する形式のひとつです。デジタルカメラで撮った写真などのほとんどはJPEG形式で保存されています。

MP3
MPEG1 Audio Layer-3の略で、音声圧縮の規格のひとつです。音質を保ちながらデータのサイズを大幅に縮小できるという特長があります。

NTSC
National Television Standards Committeeの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式のひとつです。この方式は日本や北米、中南米で利用されています。

PAL
Phase Alternation by Lineの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式のひとつです。この方式はフランス以外の西ヨーロッパ諸国をはじめ、中国などのアジア諸国やアフリカなどで利用されています。

SDTV
Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満たさない標準テレビ放送のことです。

SECAM
SEquential Couleur A Memoireの略で、地上波アナログカラーテレビ放送の方式のひとつです。フランス、東ヨーロッパや旧ソ連、中東、アフリカなどで利用されています。

WMA
「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。
WMAデータは、Windows Media Player Ver.7、7.1、Windows Media Player for Windows XP、またはWindows Media Player 9 Seriesを使用してエンコードすることができます。
WMAファイルは、米国Microsoft Corporationより認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

YCbCr
SDTV用のコンポーネント映像信号で、Yが輝度、Cb、Crが色差を表します。

YPbPr
HDTV用のコンポーネント映像信号で、Yが輝度、Pb、Prが色差を表します。

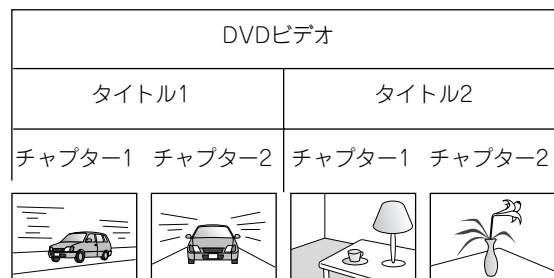
アスペクト比
画面の横と縦の比率をいいます。横:縦の比率が16:9の、HDTVなどの画面をワイド画面といいます。SDTVや、一般的なコンピューターのディスプレイのアスペクト比は、4:3です。本機は、再生するディスクによって自動的にアスペクト比を認識します。

同軸デジタル出力
音声信号をデジタル信号に変えて、同軸ケーブルで伝達できるようにしたものです。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオCDの再生方式のひとつです。表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。

ディスクに関する用語

タイトル/チャプター/トラック
DVDビデオは、大きくはタイトルという単位に分かれていて、そのタイトルの中がチャプターという小単位に分かれています。

DVDビデオ			
タイトル1		タイトル2	
チャプター1	チャプター2	チャプター1	チャプター2

ビデオCDやオーディオCDはトラックという単位で分かれています。

ビデオCD/オーディオCD			
トラック1	トラック2	トラック3	トラック4

索引

数字・アルファベット

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ラ

サポート・サービスのご案内

本機に関するご質問・ご相談には、以下のサポート窓口でお応えいたします。それぞれの電話番号・アドレスは、本書裏表紙の一覧表をご覧ください。

- **エプソンのホームページ**
  各種製品情報をはじめ、最新のイベントやフェア、サポートなど、さまざまな情報を満載したホームページです。
- **プロジェクターインフォメーションセンター**
  プロジェクターに関するご質問、ご相談に電話でお応えいたします。
- **エプソンの各修理センター**
  プロジェクターの修理に関するお問い合わせ、ご相談に電話でお応えいたします。
- **消耗品のご購入**
  交換用ランプやオプション類は、お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクトでお買い求めいただけます。

保証書

本製品の保証内容は、お買い上げ日より１年間の持ち込み修理の保証となっております。製品に添付の保証書の内容をよくご覧いただき、大切に保管してください。
保証期間中に万一、故障したときには、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。

修理を依頼される前に

「故障かな？」と思ったら、本書の「困ったときに」をご覧いただき、接続や設定に間違いのないことをご確認ください。
それでも直らないときは、次の処置を行ってから修理を依頼してください。
ご自分での修理は、大変危険ですので絶対にしないでください。
①本機の電源を切る。
②本機の電源端子とコンセントから電源ケーブルを抜く。

保守サービスの種類と申し込み先

本機には、次の保守サービスが用意されています。ご要望に合うものをお選びください。プロジェクターの出張修理サービスは行っていません。商品名や製品ごとのシリアル番号は、製品を識別するのに必要です。この情報が記載されているプレートやラベルがはがされているなどで識別できない製品については、修理に応じられないことがあります。あらかじめご了承ください。

サービスの種類	概要	持ち込み先・送付先/申し込み先
持ち込み修理	修理品をお持ちいただくか、送付していただき、いったんお預かりして修理します。	• 製品をお買い求めいただいた販売店 • エプソンの各修理センター 各修理センターの連絡先は、本紙裏表紙の一覧をご覧ください。
ドア to ドアサービス	お申し込みいただくと、エプソン指定の運送業者が修理品を引き取りに伺います。 ドア to ドア料金(輸送費)は有償となります。保証期間外は、ドア to ドア料金とは別に修理代金が必要となります。	エプソンの各修理センター 各修理センターの連絡先は、本書裏表紙の一覧をご覧ください。

部品の保有期間

当社は、本製品の補修用性能部品(本製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年保有しています。

ご注意

(1)本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
(2)本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
(4)運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5)本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(裏表紙参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6)エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生したときには、責任を負いかねますのでご了承ください。
(7)本書中のイラストと画面図は実際とは異なることがあります。
(8)日本国外では本製品の修理・保守サービスおよび不具合などの対応はお受けできませんのでご了承ください。

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

商標について

Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
iMacはApple Inc.の商標です。
本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
本機は、米国特許NO.5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535に基づき製造されています。DTS and the Symbol are registered trademarks & DTS Digital Surround and the DTS logos are trademarks of DTS, Inc. Product includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved.
DivX、DivX Ultra Certified、および関連するロゴは、DivX, Inc. の登録商標です。これらの登録商標は、DivX, Inc. の使用許諾を得て使用しています。
DVDビデオのロゴは商標です。
HDMIとHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のないときでも、これを十分尊重いたします。

EH-DM3

取扱説明書

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●プロジェクターインフォメーションセンター　製品の操作方法・お取扱い等、技術的な問い合わせに電話でお答えします。

050-3155-7010 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00　土曜日10:00～17:00（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-503-1969へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠 点 名	所　　在　　地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス(株)	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊修理について詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/ でご確認ください。
◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。
・松本修理センター：0263-86-7660　・東京修理センター：042-584-8070　・福岡修理センター：092-622-8922

●ドアtoドアサービス（修理品有償ピックアップサービス）に関するお問い合わせ先

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話　050-3155-7150 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。
＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/ でご確認ください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

愛情点検　長年ご使用のプロジェクターの点検を！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

こんな症状はありませんか？
● 電源スイッチを入れても、映像や音が出ない。
● 映像が時々消えることがある。
● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
● 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
● 内部に水や異物が入った。
● 電源コードが傷んだ。

ご使用中止
コンセントから電源プラグを抜いて必ず取扱販売店にご相談ください。

●ショールーム　＊詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】月曜日～金曜日　9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

● 消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料 0120-545-101）でお買い求めください。（2007年9月現在）

エプソン販売 株式会社　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社　〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

液晶プロジェクタ(H)　2009. 05

Printed in China
XX.XX-XA(G04)

411950700